

だい き よこはまししょうがいしゃ さくせい
第5期横浜市障害者プラン作成のための
とうじしゃむ
当事者向けアンケート

けっ かほうこくしょ
結果報告書

ち て きしょうがいしゃ
知的障害者

れい わ ねん がつ
令和8年3月
よこ はま し
横 浜 市

もく じ 目 次

I	<u>調査の概要</u>	1
1	<u>調査の目的</u>	1
2	<u>調査対象</u>	1
3	<u>調査方法</u>	1
4	<u>調査期間</u>	1
5	<u>回収状況</u>	1
II	<u>調査結果</u>	2
	はじめに、このアンケートを <u>記入</u> される <u>方</u> についておたずねします.....	2
	あなたやあなたのご <u>家族</u> のことについておたずねします.....	3
	あなたの <u>地域</u> での <u>生活状況</u> についておたずねします.....	23
	<u>近所</u> の <u>人</u> との <u>おつきあい</u> や <u>余暇</u> についておたずねします.....	38
	<u>医療</u> と <u>健康</u> についておたずねします.....	51
	<u>災害関係</u> についておたずねします.....	55
	その他、 <u>自由意見</u> など.....	57

I 調査の概要

1 調査の目的

横浜市では障害福祉施策の方向性や福祉サービスの必要量を定める「横浜市障害者プラン」を策定している。令和9年度から令和14年度までの6年間を期間とする「第5期横浜市障害者プラン」を策定するため、障害者手帳をお持ちの方々の生活状況の把握やご意見を聴くことを目的にアンケートを実施した。

2 調査対象

令和7年12月現在、「身体障害者手帳をお持ちの方」、「愛の手帳をお持ちの方」、「精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方」、「障害者総合支援法の福祉サービスを利用している、障害者総合支援法対象疾病の患者の方」のうち、約10%の方19,000人を無作為抽出。

3 調査方法

郵送または横浜市電子申請・届出システム（以下、「システム」という。）によるアンケート形式

4 調査期間

郵送回答：令和8年1月14日～令和8年2月6日
システム回答：令和8年1月22日～令和8年2月11日

5 回収状況

アンケート配布数 19,000通
回収数 6,622件
回収率 34.9%

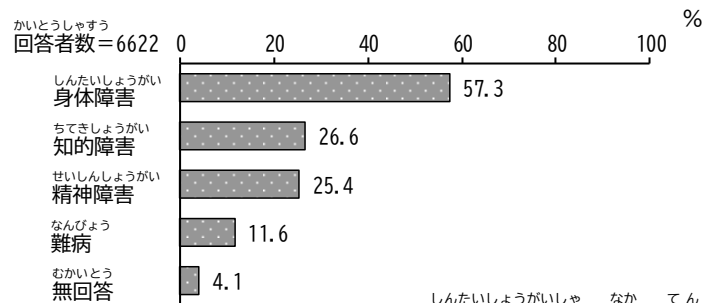
回答方法	配布数	回収数
郵送	19,000通	4,949件
システム		1,673件

※集計結果の見方

①数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている。

全体 (n=6,622)

身体障害者 (n=3,793)、知的障害者 (n=1,760)、精神障害者 (n=1,679)、難病 (n=769) 注：重複有



(身体障害者の中で点字回答1件)

②複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

③回答者の属性別（居住、居住形態など）の回答状況を示す表（クロス集計）を掲載した。

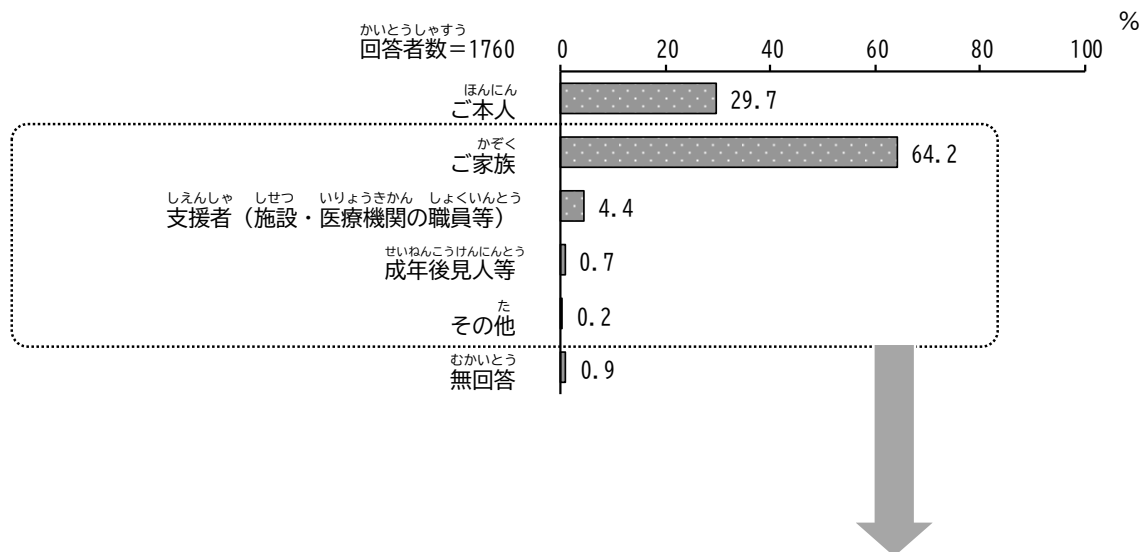
また、クロス表中で、選択肢の中で第1位の項目について網掛けにしている。

Ⅱ ちょうさけっか 調査結果

はじめに、このアンケートを記入される方についておたずねします

問1 このアンケートはどなたが記入されますか。(○は1つだけ)

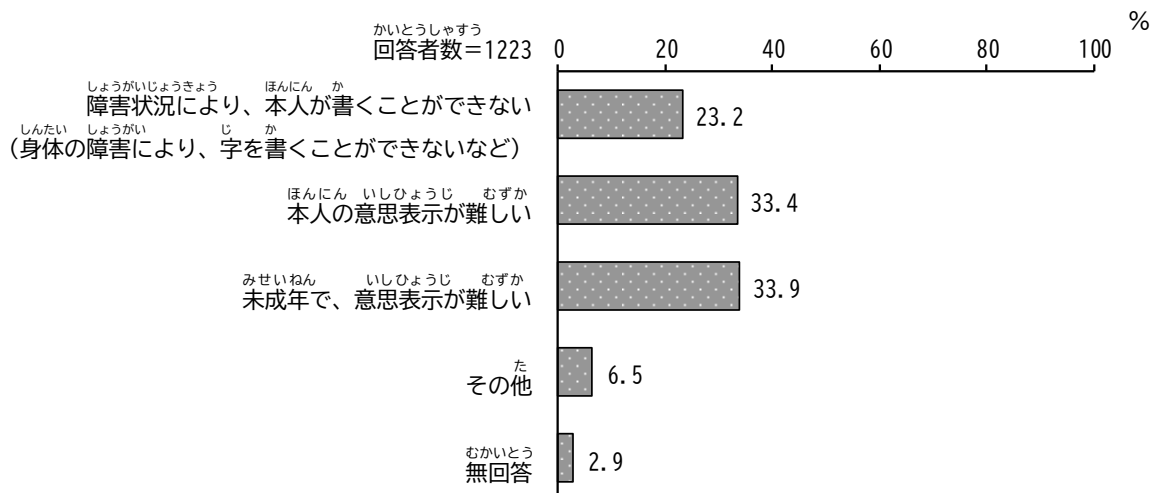
「ご家族」の割合が64.2%と最も高く、次いで「ご本人」の割合が29.7%となっています。



問1で「ご家族」から「その他」を選んだ方にうかがいます。

問1-1 本人以外の方が記入するのは、どのような状況からですか。(○は1つだけ)

「未成年で、意思表示が難しい」の割合が33.9%、「本人の意思表示が難しい」の割合が33.4%、「障害状況により、本人が書くことができない (身体の障害により、字を書くことができないなど)」の割合が23.2%となっています。

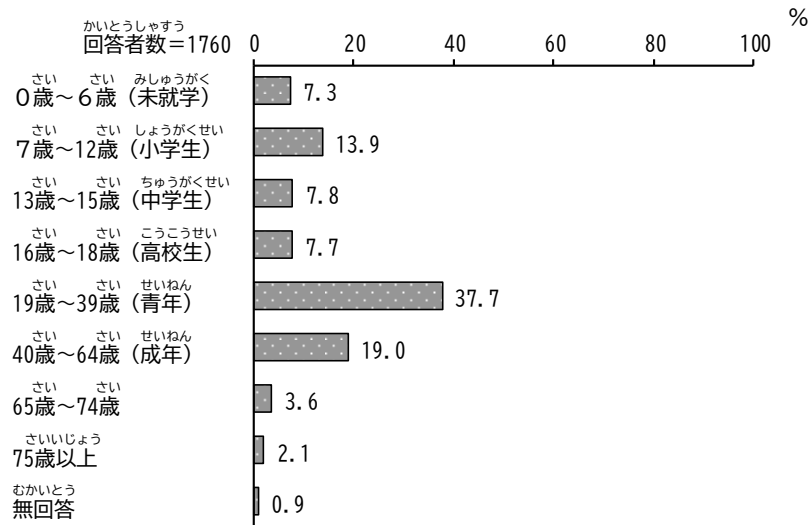


あなたやあなたのご家族のことについておたずねします

この後の質問で、「あなた」とは障害者本人のことです。

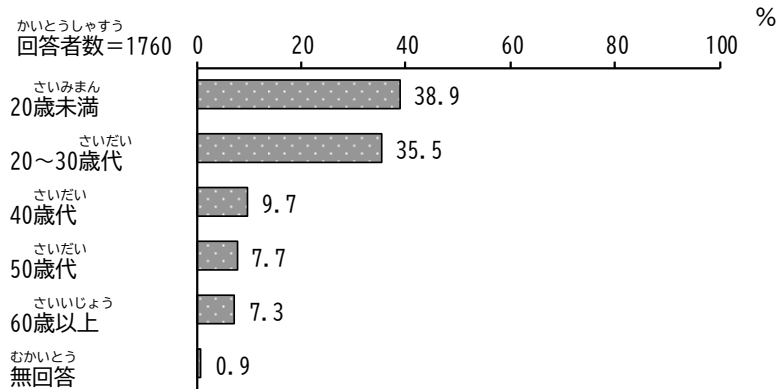
問2 あなたの年齢（歳）

「19歳～39歳（青年）」の割合が37.7%と最も高く、次いで「40歳～64歳（成年）」の割合が19.0%、「7歳～12歳（小学生）」の割合が13.9%となっています。



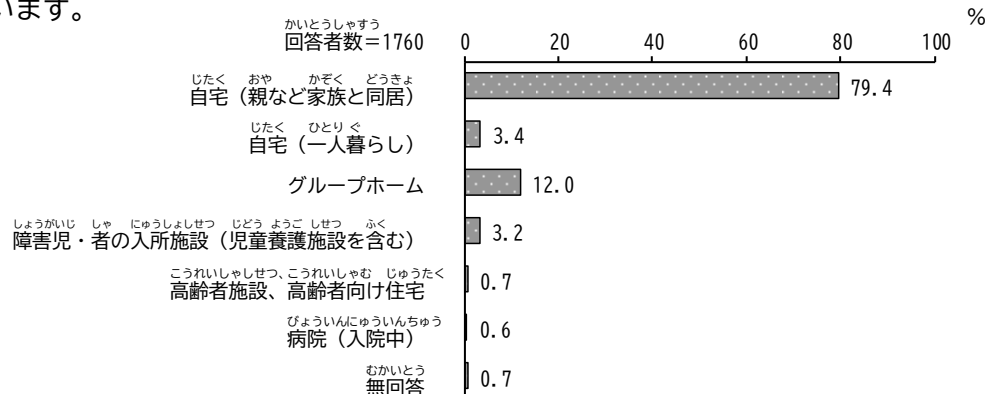
年代別

「20歳未満」の割合が38.9%と最も高く、次いで「20～30歳代」の割合が35.5%、「40歳代」の割合が9.7%となっています。



問3 あなたは現在どこで暮らしていますか。（○は1つだけ）

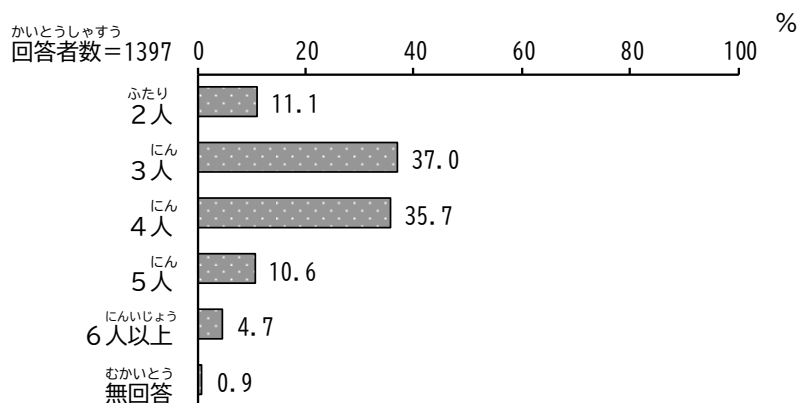
「自宅（親など家族と同居）」の割合が79.4%と最も高く、次いで「グループホーム」の割合が12.0%となっています。



問3で「自宅（親など家族と同居）」を選んだ方にうかがいます。

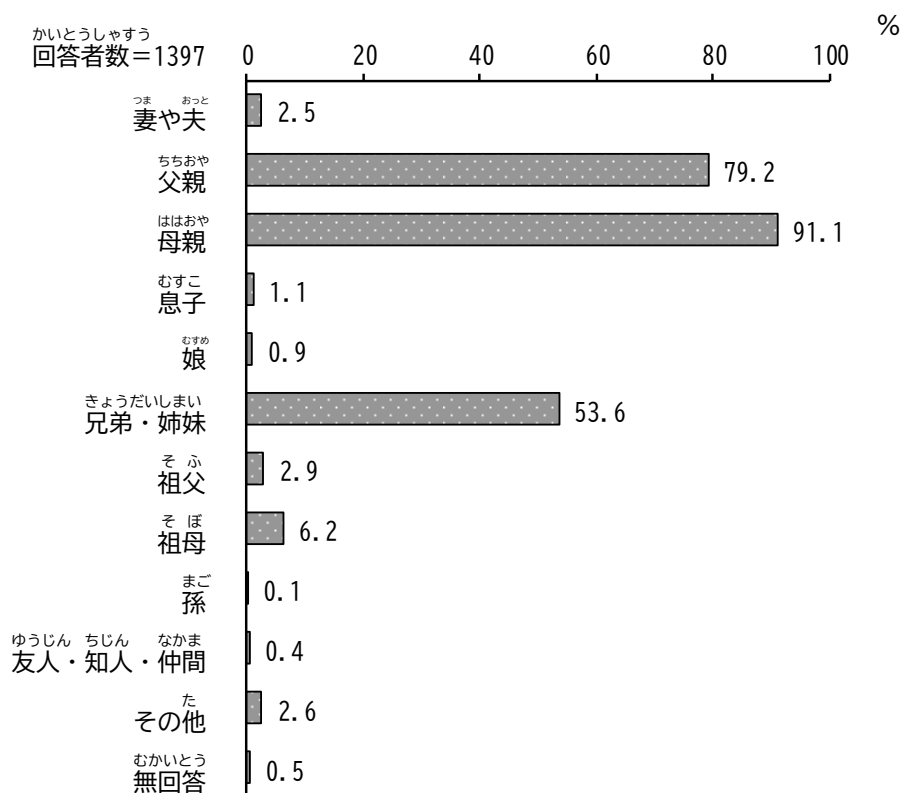
問3-1 自宅で暮らしている場合、一緒に暮らしている人はあなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ）

「3人」の割合が37.0%と最も高く、次いで「4人」の割合が35.7%、「2人」の割合が11.1%となっています。

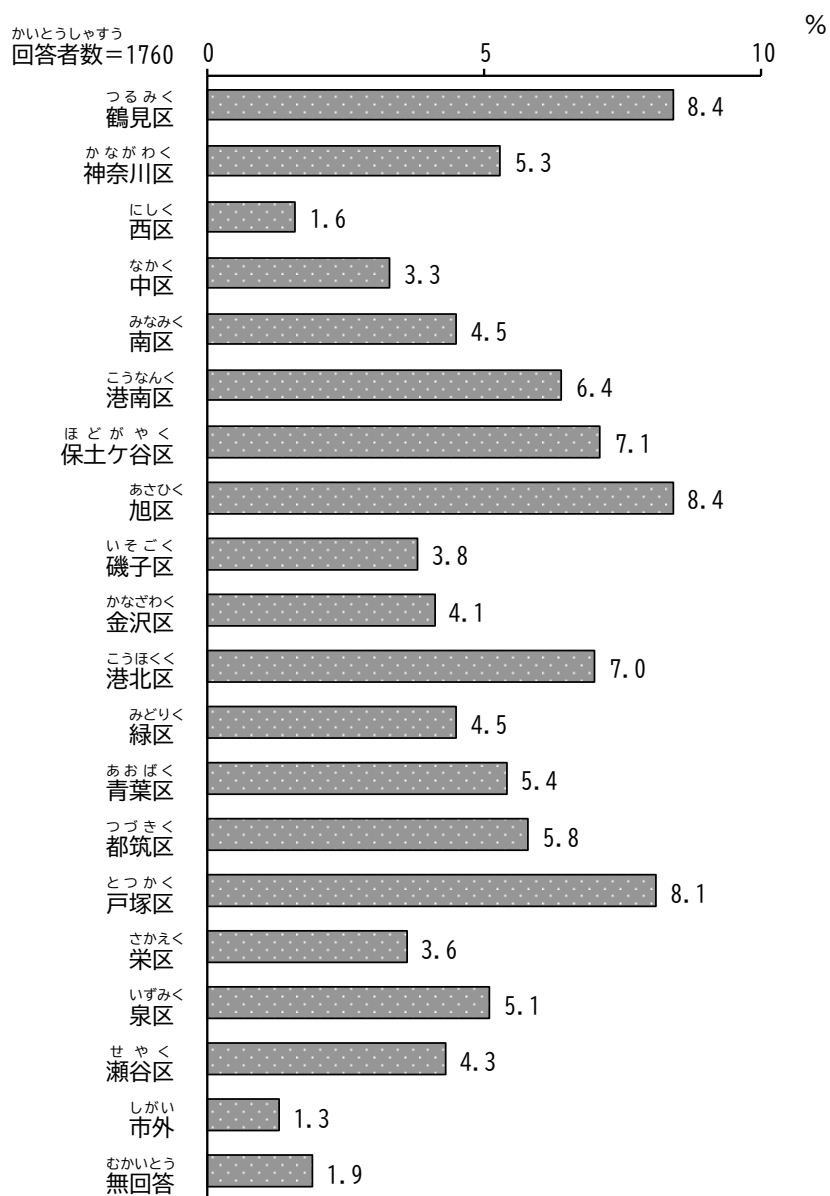


問3-2 あなたと一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「母親」の割合が91.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が79.2%、「兄弟・姉妹」の割合が53.6%となっています。

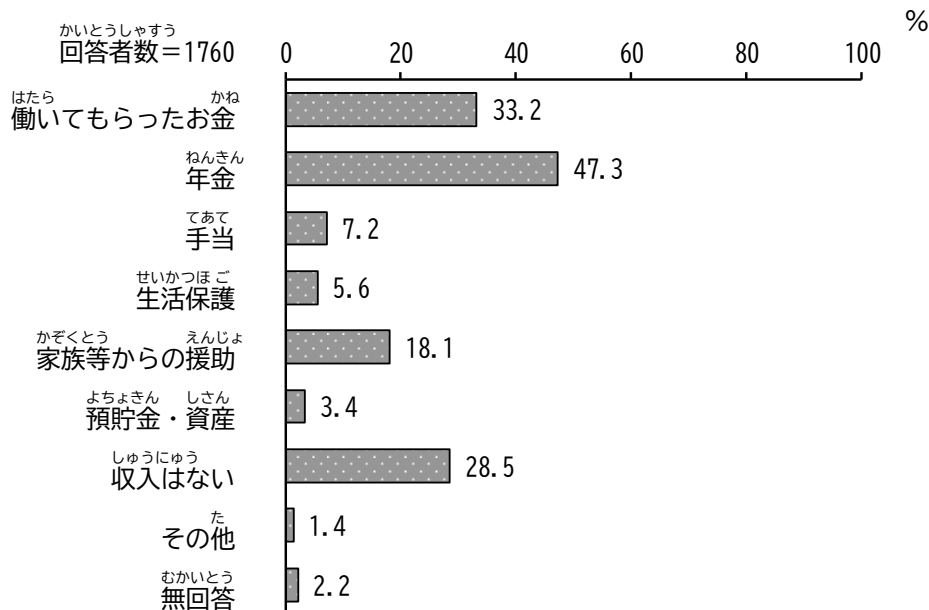


問4 あなたが現在暮らしているのは何区ですか。(○は1つだけ)



問5 あなたの収入源は何ですか。(○はいくつでも)

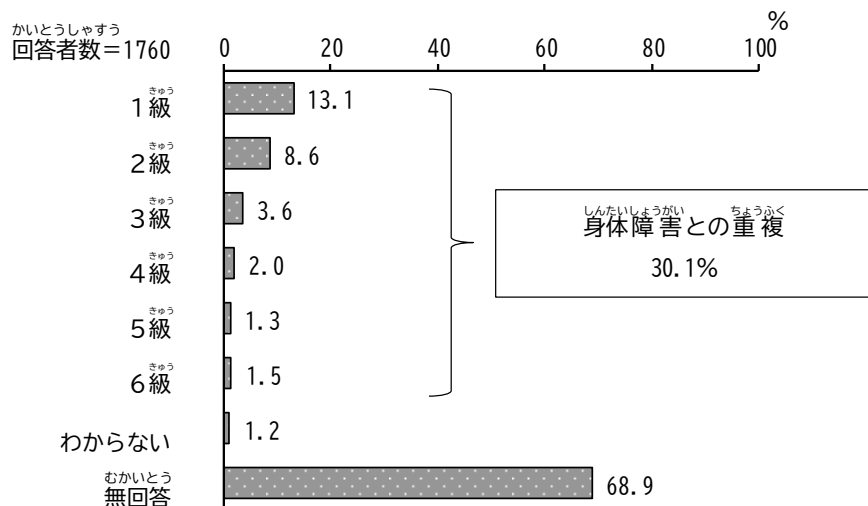
「年金」の割合が47.3%、「働いてもらったお金」が33.2%、「家族等からの援助」が18.1%の順に高くなっています。一方、「収入はない」の割合は28.5%となっています。



身体障害者手帳をお持ちの方は問6、愛の手帳をお持ちの方は問7、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は問8、をお答えください。複数にあてはまる方は、それぞれお答えください。

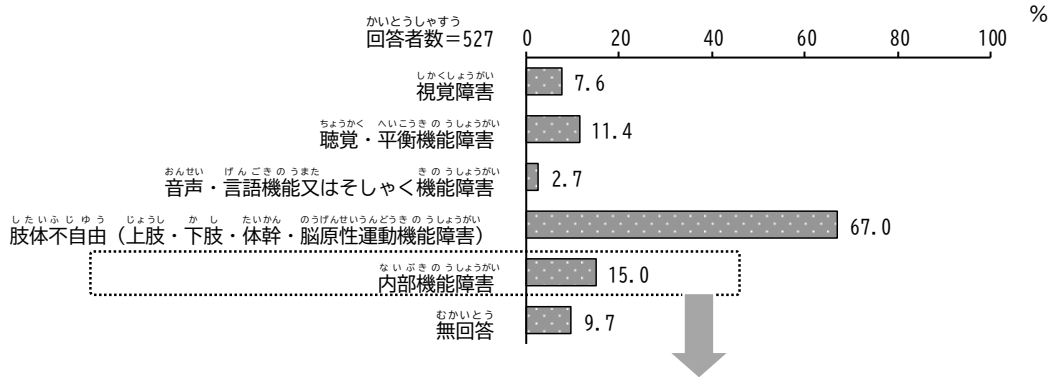
問6 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「身体障害者手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「愛の手帳」を持っている方の中で「身体障害者手帳」を持っている方は30.1%、「身体障害者手帳」の障害の程度は、「1級」の割合が13.1%と最も高く、次いで「2級」の割合が8.6%、「3級」の割合が3.6%となっています。



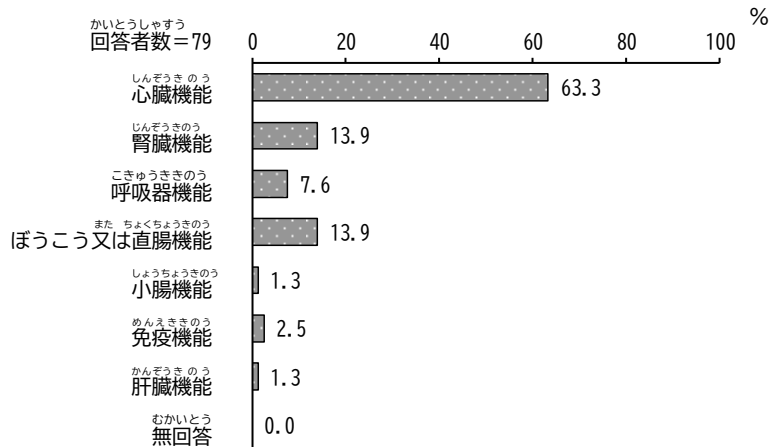
問6-1 「身体障害者手帳」をお持ちの方は、記載されている項目に○をつけてください。
(○はいくつでも)

「肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能障害)」の割合が67.0%と最も高く、次いで「内部機能障害」の割合が15.0%、「聴覚・平衡機能障害」の割合が11.4%となっています。



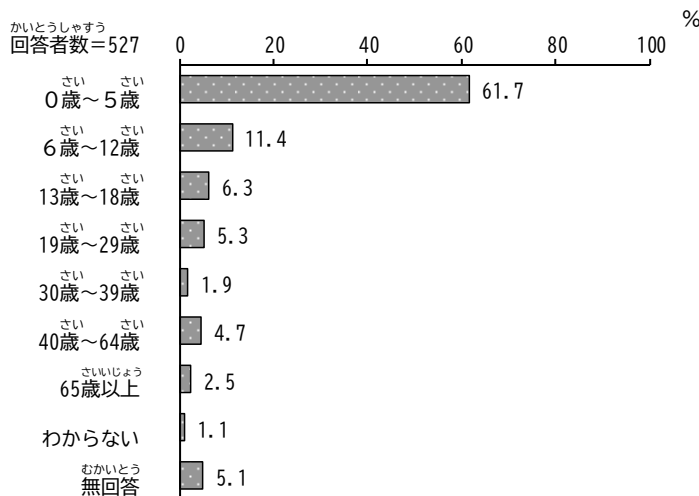
問6-1-1 「内部機能障害」の方は、障害の種別に○をつけてください。(○はいくつでも)

「心臓機能」の割合が63.3%と最も高く、次いで「腎臓機能」「ぼうこう又は直腸機能」の割合が13.9%となっています。



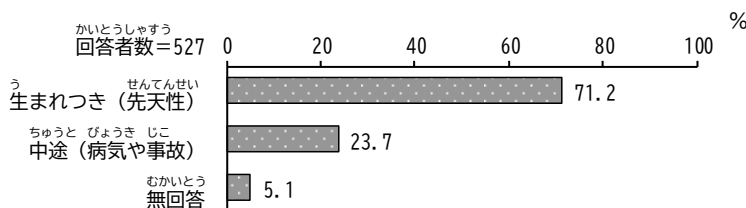
問6-2 「身体障害者手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

「愛の手帳」を持っている方の中で「身体障害者手帳」を取得した年齢は、「0歳～5歳」の割合が61.7%と最も高く、次いで「6歳～12歳」の割合が11.4%、「13歳～18歳」の割合が6.3%となっています。



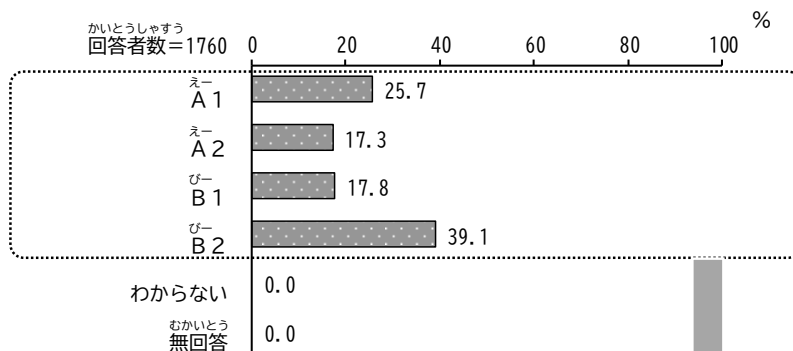
問6-2-1 障害の発症はいつですか。(○は1つだけ)

「生まれつき(先天性)」の割合が71.2%、「中途(病気や事故)」の割合が23.7%となっています。



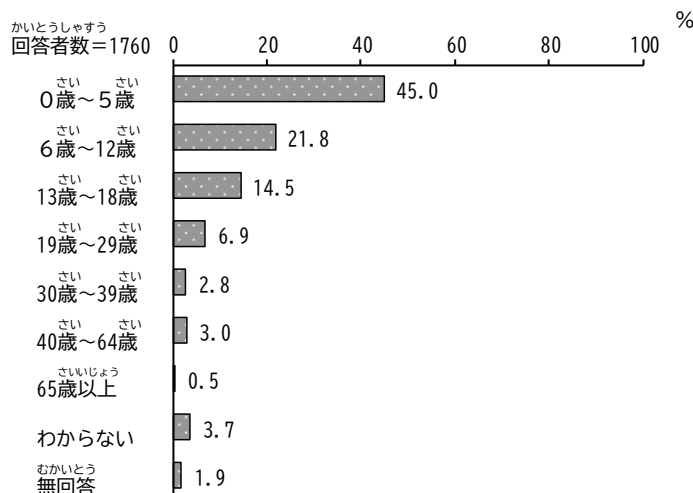
問7 あなたは「愛の手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「愛の手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「愛の手帳」に記載された障害の程度は、「B2」の割合が39.1%と最も高く、次いで「A1」の割合が25.7%、「B1」の割合が17.8%となっています。



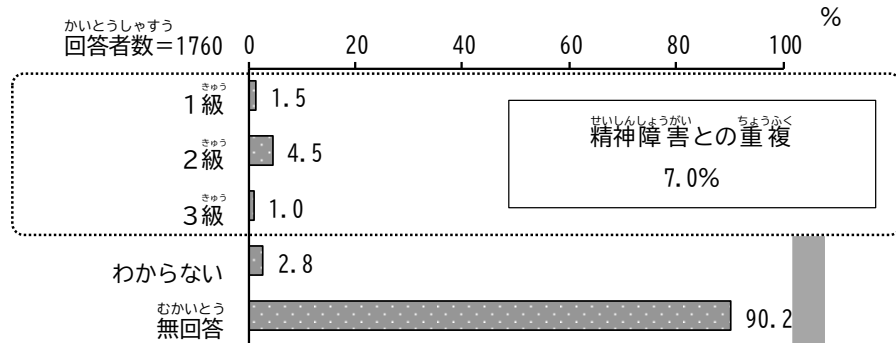
問7-1 あなたが「愛の手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

「愛の手帳」を取得した年齢は、「0歳～5歳」の割合が45.0%と最も高く、次いで「6歳～12歳」の割合が21.8%、「13歳～18歳」の割合が14.5%となっています。



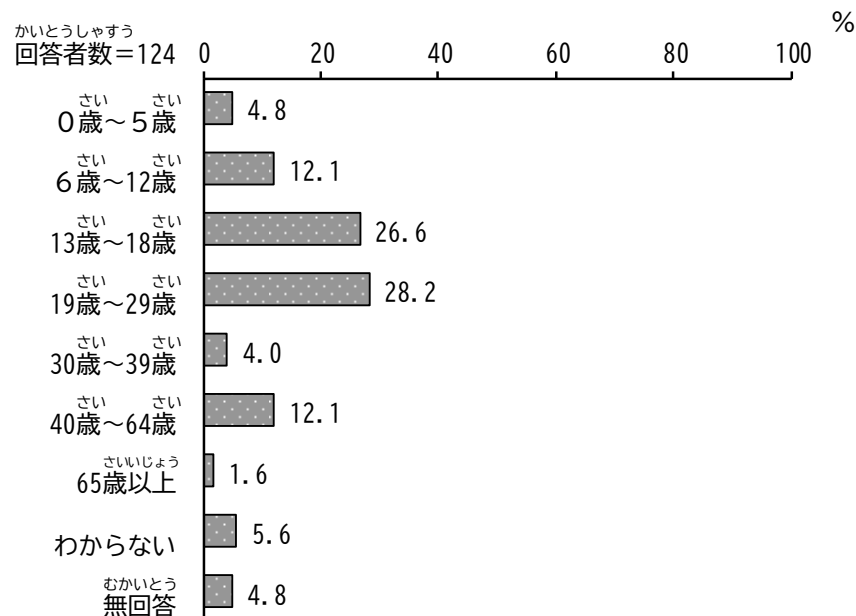
問8 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。（○は1つだけ）

「愛の手帳」を持っている方の中で「精神障害者保健福祉手帳」を持っている方は7.0%、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度は、「2級」の割合が4.5%と最も高く、次いで「1級」の割合が1.5%、「3級」の割合が1.0%となっています。



問8-1 「精神障害者保健福祉手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。（○は1つだけ）

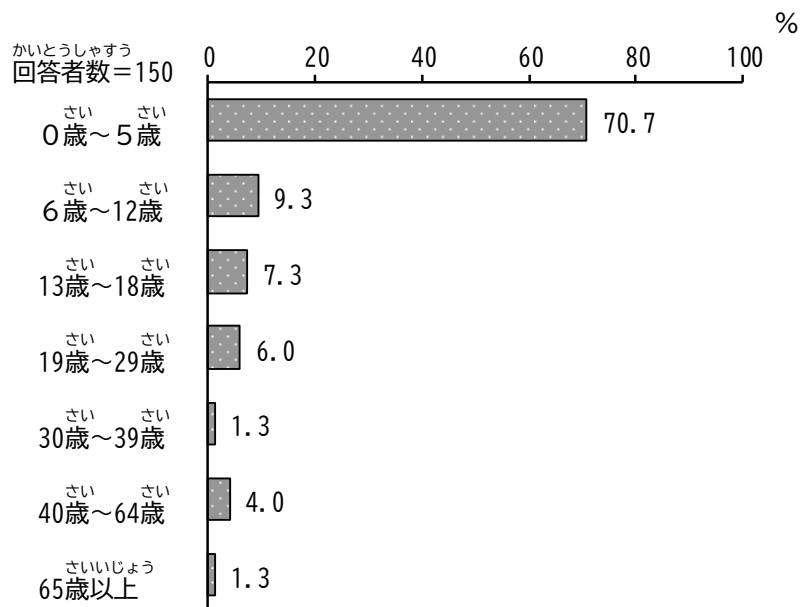
「愛の手帳」を持っている方の中で「精神障害者保健福祉手帳」を取得した年齢は、「19歳～29歳」の割合が28.2%と最も高く、次いで「13歳～18歳」の割合が26.6%、「6歳～12歳」「40歳～64歳」の割合が12.1%となっています。



難病の方は問9、医療的ケアを受けている方は問10 をお答えください。あてはまらない方は問11 へ

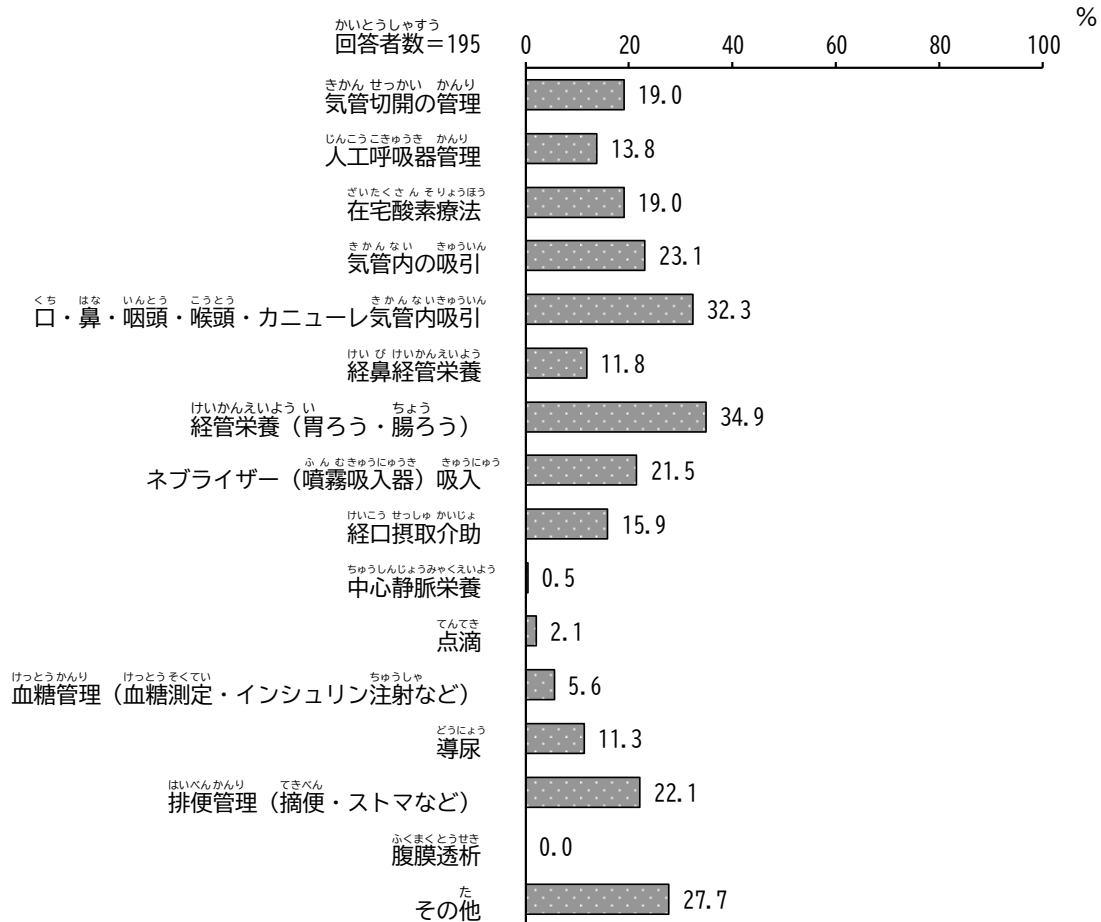
問9 「難病」の診断を受けている方にお尋ねします。診断を受けた年齢はいつですか。
(〇は1つだけ)

「愛の手帳」を持っていると答えた方の中で「難病」の診断を受けていると回答した方は8.5%で、
診断を受けた年齢は、「0歳～5歳」の割合が70.7%と最も高く、次いで「6歳～12歳」の割合が9.3%、
「13歳～18歳」の割合が7.3%となっています。



問10 医療的ケア等を必要としている方にお尋ねします。必要としている医療的ケア等に○をつけてください。(○はいくつでも)

「医療的ケア等を必要としている」と回答した方は11.1%で、医療的ケア等の内容は、「経管栄養(胃ろう・腸ろう)」の割合が34.9%と最も高く、次いで「口・鼻・咽頭・喉頭・カニューレ気管内吸引」の割合が32.3%、「気管内の吸引」の割合が23.1%となっています。



【医療的ケア等の有無と災害時の備えのクロス】

医療的ケアを必要としている方が、災害時の備えとして行っていることをみると、「災害時の水や食糧を準備している」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素ボンベなどを準備している」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問33 災害時への備え	自分の避難先 (地域防災拠点など)を確認している	災害時の水や食糧を準備している	ボンベなどを準備している	障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素 準備している	在宅医療機器の予備電源や予備バッテリーを 準備している	家族や支援してくれる人と、災害時の対応につい て、話をしている	防災訓練などに参加している	地域の人に事情を伝えている(要援護者名簿等へ の記載など)	避難所に移動する場合があることを確認している	地域防災拠点では避難生活が難しい方が、福祉 避難所に移動する場合があることを確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		1,760	37.4	41.1	8.1	4.2	21.5	21.0	9.9	6.4	4.5	24.7	6.0			
問10 必要 としている医療的 ケア	医療的ケア 等が必要	195	45.6	49.7	32.3	20.5	24.6	16.9	20.5	15.4	10.3	15.4	4.6			
	医療的ケア 等不要	1565	36.4	40.0	5.0	2.2	21.1	21.5	8.6	5.3	3.8	25.9	6.1			

【医療的ケア等の有無と災害時の不安のクロス】

医療的ケア等を必要としている方の、災害時の不安をみると、「避難所の設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「停電で在宅医療機器が使えなくなるのではないかな」の割合が高くなっています。

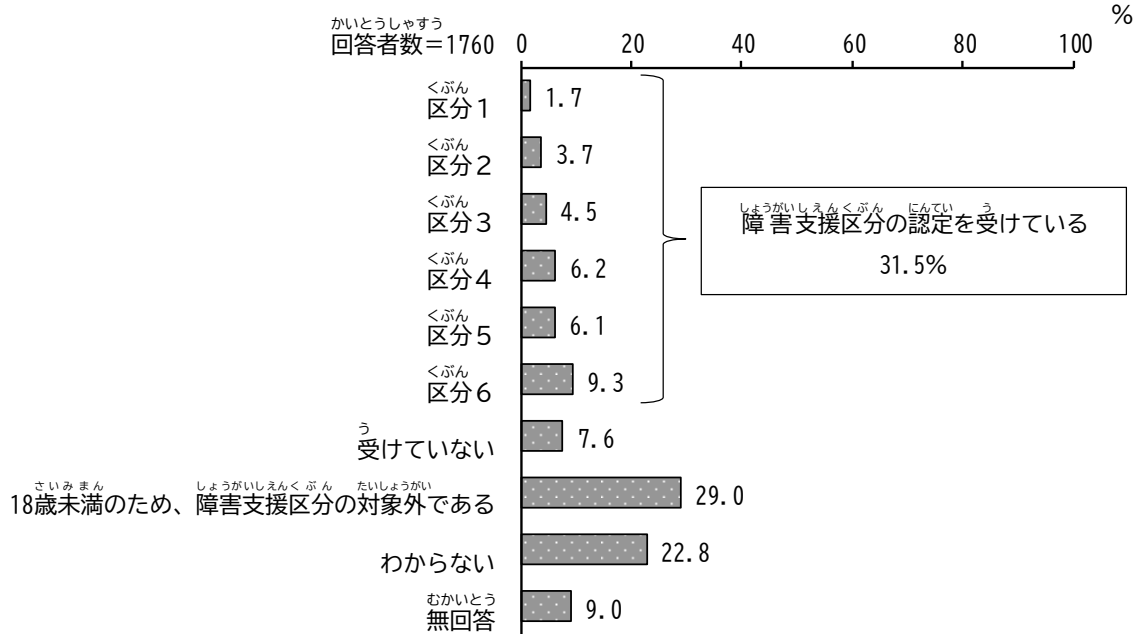
単位：％

		回答者数(件)	問34 災害に備えていても、不安に思うこと														
			避難所での設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か	避難所で周りの人や知らない人と うまく過ごせるか	避難所の人が自分の障害を理解して くれるか	避難所の設備が障害に配慮されてい る(バリアフリーになっている)か	きちんと障害者にも入ってくるか	避難指示などの重要な情報が	避難所までたどり着けるか	避難所ではないか	停電で在宅医療機器が使えなくなる	風水害に対する対処方法がわからない	避難所がわからない	避難を支援してくれる人がいない	その他	特に不安に思うことはない	無回答
全 体		1,760	52.4	25.7	47.0	26.4	34.1	6.5	13.2	10.6	13.9	6.4	12.6	8.3			
問10 必要 としている	医療的ケア 等が必要	195	39.0	50.3	44.1	28.7	46.2	33.8	13.3	8.2	21.0	12.3	9.7	5.6			
	医療的ケア 等は不要	1565	54.1	22.6	47.4	26.1	32.7	3.1	13.2	10.9	13.0	5.7	13.0	8.6			

以下の質問は、全員がお答えください。

問11 あなたの障害支援区分について、教えてください。(○は1つだけ)

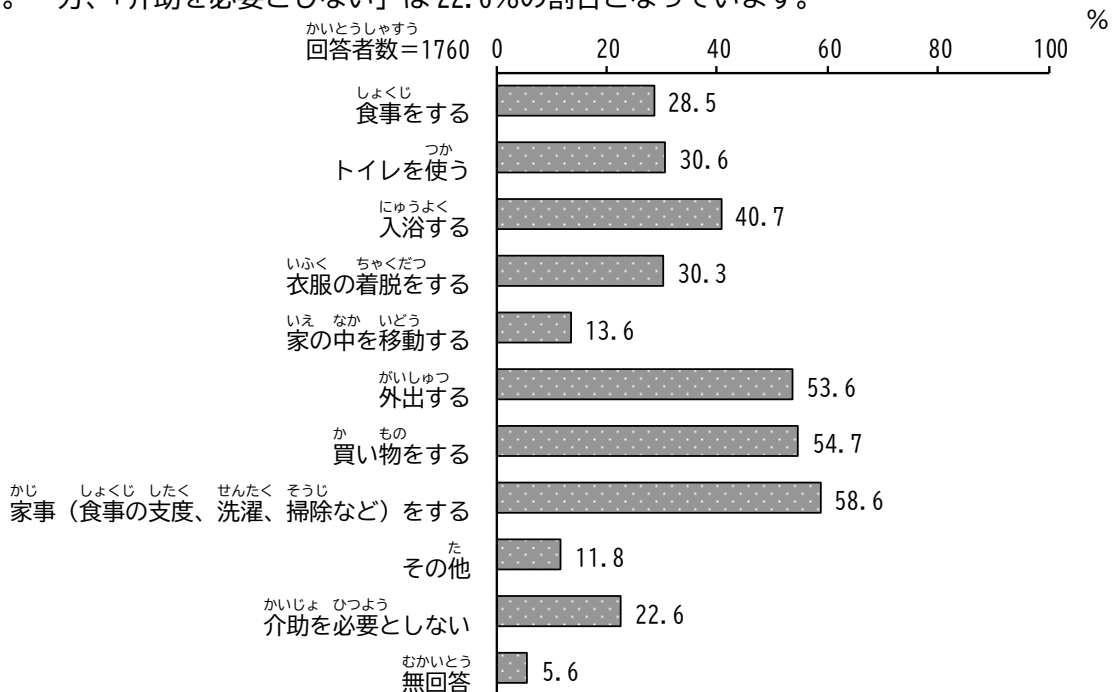
「愛の手帳」を持っている方の中で障害支援区分の認定を受けている方は31.5%で、障害支援区分の内訳は、「区分6」が9.3%、「区分4」が6.2%、「区分5」が6.1%の順となっており、一方、「受けていない」の割合が7.6%となっています。



ふだんの生活で困っていること、これからの困りごとについておたずねします

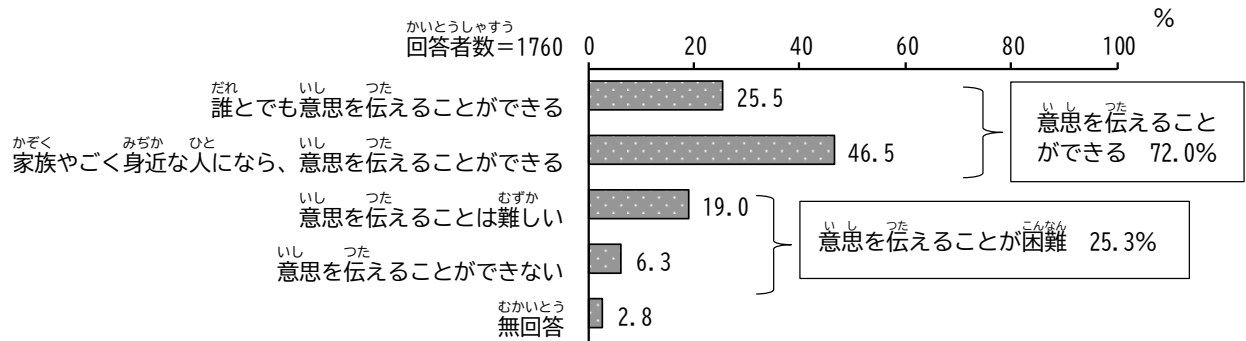
問12 あなたは、日常の生活に介助を必要としますか。介助を必要とする項目すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

日常の生活に介助を必要とする項目は、「家事（食事の支度、洗濯、掃除など）をする」の割合が58.6%と最も高く、次いで「買い物をする」の割合が54.7%、「外出する」の割合が53.6%となっています。一方、「介助を必要としない」は22.6%の割合となっています。



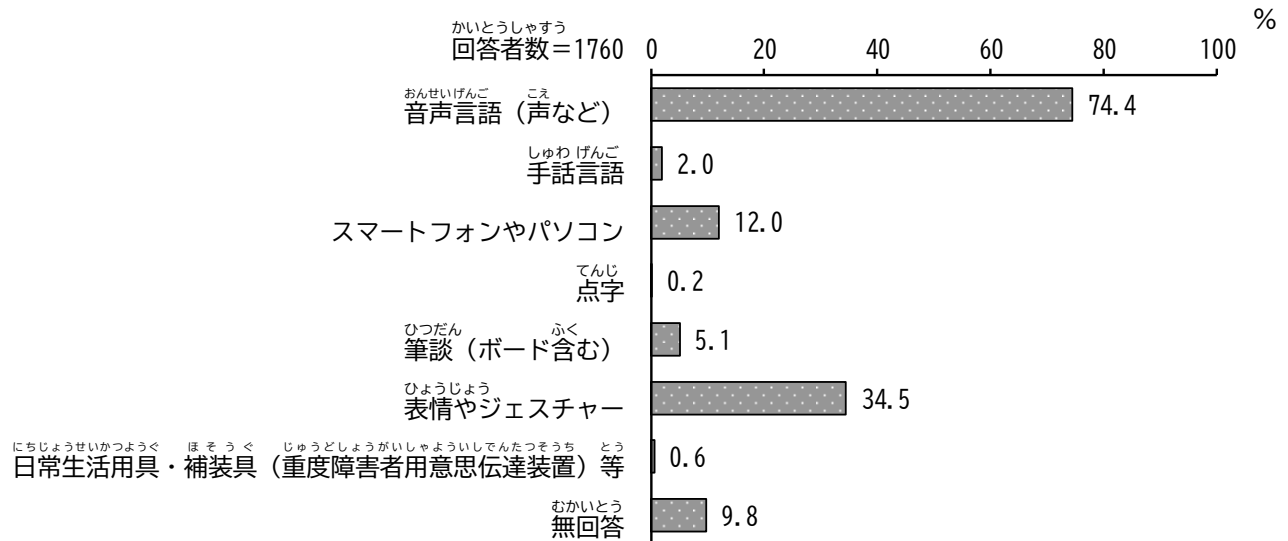
問13 あなたは、自分だけでまわりの人に意思を伝えることができますか。(○は1つだけ)

「家族やごく身近な人になら、意思を伝えることができる」の割合が46.5%と最も高く、次いで「誰とでも意思を伝えることができる」の割合が25.5%となっています。



問13-1 あなたはどのような方法で意思を伝えていますか。(○はいくつでも)

「音声言語(声など)」の割合が74.4%と最も高く、次いで「表情やジェスチャー」の割合が34.5%、「スマートフォンやパソコン」の割合が12.0%となっています。

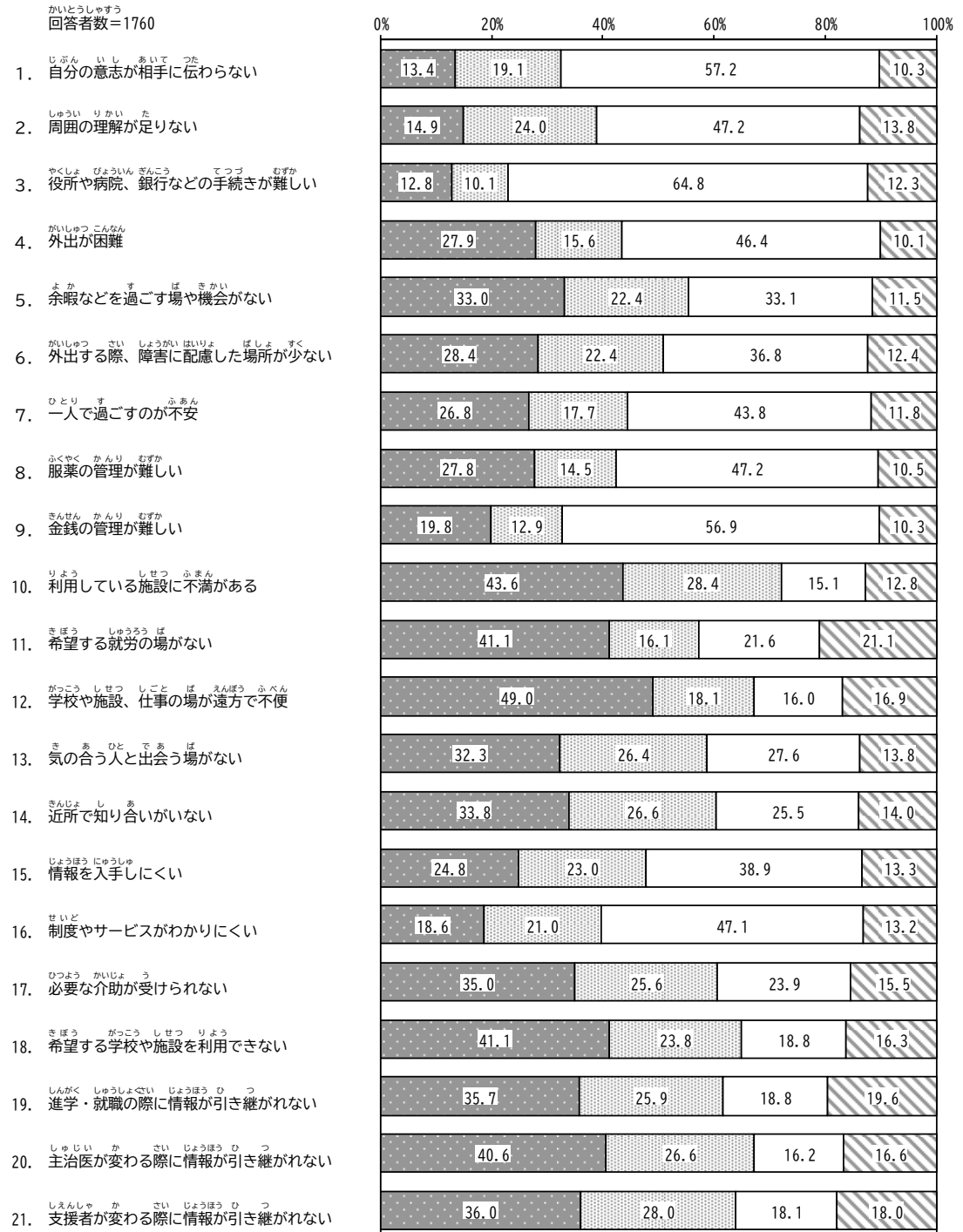


問14 「生活の中で困ること」について、①困りごとの有無、②困ったときの相談先を、教えてください。

①困りごとの有無（それぞれに○はひとつ）

生活の中で「困ることがある」の上位3項目は、「3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい」、
「1. 自分の意志が相手に伝わらない」、「9. 金銭の管理が難しい」で5割以上の方が挙げています。
一方、「10. 利用している施設に不満がある」、「20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない」等は、
6割以上の方が「困ることはない」「困ることはほとんどない」と回答しており、21項目中12項目で、
5割以上の方が「困ることはない」「困ることはほとんどない」と回答しています。

■ 困ることはない ■ 困ることはほとんどない □ 困ることがある ■ 無回答



②困ったときの相談先（それぞれに○はいくつでも）

※『①困りごとの有無』で「困りごとがある」と回答した回答者の、困ったときの相談先を表しています。

困ったときの相談先としては、全ての項目で「家族」が最も高くなっています。

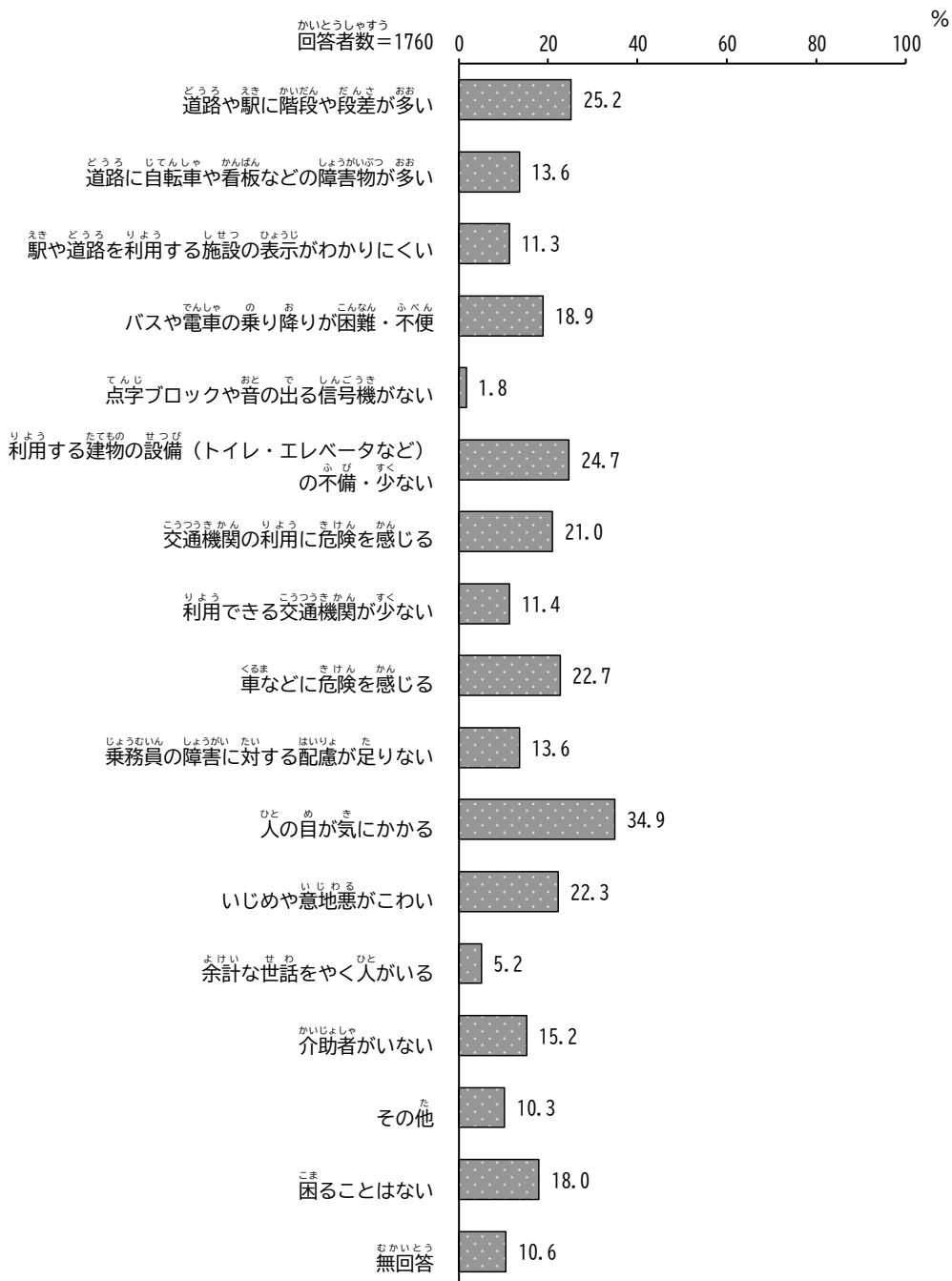
「18. 希望する学校や施設を利用できない」「19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない」等に関することは、「相談先がわからない」の割合が高くなっています。また、「13. 気の合う人と出会う場がない」「20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない」等については、「相談する相手がいない」の割合が他と比較して高くなっています。

単位：％

	回答者数 (件)	家族	友人	近所の人や自治会・町内会、民生委員等	支援者（医療機関・施設等の職員）	成年後見人等	当事者団体・親の会など	区役所（福祉保健センター）	基幹相談支援センター・生活支援センター	計画相談	地域ケアプラザ	地域療育センター	学校	相談先がわからない	相談する相手がいない	その他	無回答
1. 自分の意志が相手に伝わらない	1,007	79.3	5.6	1.2	42.9	2.0	1.7	3.4	2.9	10.9	0.8	7.2	17.8	1.5	1.4	4.6	5.3
2. 周囲の理解が足りない	831	74.7	5.5	1.2	37.9	1.4	1.7	3.5	3.6	10.3	0.2	6.0	16.2	2.3	3.4	5.1	7.0
3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい	1,140	80.7	1.8	0.8	22.2	2.6	0.7	5.7	1.9	7.8	0.4	2.6	3.2	0.9	0.9	2.8	6.3
4. 外出が困難	817	79.2	3.4	0.7	35.3	1.1	1.7	4.3	2.6	12.5	0.5	4.0	7.0	1.5	1.0	3.2	5.4
5. 余暇などを過ごす場や機会がない	582	74.2	4.1	0.7	36.3	0.9	2.4	3.8	3.1	14.1	0.9	3.3	4.8	2.9	2.7	4.0	7.2
6. 外出する際、障害に配慮した場所が少ない	647	69.1	3.4	0.5	29.4	0.9	1.5	3.7	2.5	10.7	0.2	3.6	5.6	5.6	3.9	4.5	7.9
7. 一人で過ごすのが不安	770	76.9	4.0	0.6	30.6	1.3	1.4	3.9	2.3	10.8	0.5	3.9	6.8	2.2	2.6	3.4	7.1
8. 服薬の管理が難しい	831	79.3	1.4	0.4	27.7	0.5	0.6	1.2	0.4	3.2	0.1	2.0	2.6	0.6	0.6	2.4	6.0
9. 金銭の管理が難しい	1,002	80.2	2.2	0.1	19.8	2.9	0.7	1.3	0.9	3.5	0.2	1.2	2.2	0.9	0.8	2.6	6.8
10. 利用している施設に不満がある	266	67.7	5.6	0.4	27.4	1.5	2.6	5.3	4.1	12.8	1.1	5.6	16.5	4.1	4.1	7.1	6.8
11. 希望する就労の場がない	381	64.3	3.1	0.3	23.6	0.3	1.3	6.0	3.1	13.6	0.8	2.9	23.4	7.1	5.0	4.5	9.2
12. 学校や施設、仕事の場が遠方で不便	282	70.2	3.9	1.1	20.9	0.7	1.1	6.4	3.9	12.1	0.0	5.3	14.5	5.0	6.0	7.1	7.4
13. 気の合う人と出会う場がない	485	64.9	5.4	0.4	18.1	0.4	1.2	2.1	3.7	6.8	0.2	2.7	6.2	8.2	7.4	3.9	10.9
14. 近所で知り合いがいない	449	65.9	3.3	0.9	16.5	0.4	0.7	2.2	2.9	5.1	0.2	1.3	3.1	5.6	7.1	4.5	12.9
15. 情報を入手しにくい	684	61.8	5.7	1.2	27.0	0.9	3.2	15.5	6.4	14.5	0.7	5.4	9.6	5.1	3.5	3.8	10.8
16. 制度やサービスがわかりにくい	829	61.8	4.7	1.1	26.4	1.4	2.8	21.0	5.5	14.1	0.5	5.2	8.0	5.2	2.7	3.3	10.4
17. 必要な介助が受けられない	421	58.9	2.9	0.5	25.4	1.2	2.1	17.3	6.4	18.1	1.2	3.8	5.5	6.2	4.3	3.1	10.5
18. 希望する学校や施設を利用できない	331	59.8	3.3	2.1	24.2	0.6	3.3	16.3	6.3	16.9	0.9	6.3	11.8	9.7	5.4	3.6	8.8
19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない	330	63.0	2.4	0.6	23.9	0.9	0.9	6.1	3.3	11.8	0.3	6.7	20.3	8.5	6.7	4.2	7.3
20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない	285	65.3	1.8	0.0	25.6	0.7	0.7	3.9	1.4	7.7	0.4	4.2	3.9	7.0	7.4	7.0	7.7
21. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない	318	62.3	1.9	0.3	28.9	1.3	1.3	4.4	3.5	12.6	0.3	4.4	6.9	7.5	7.2	5.0	8.8

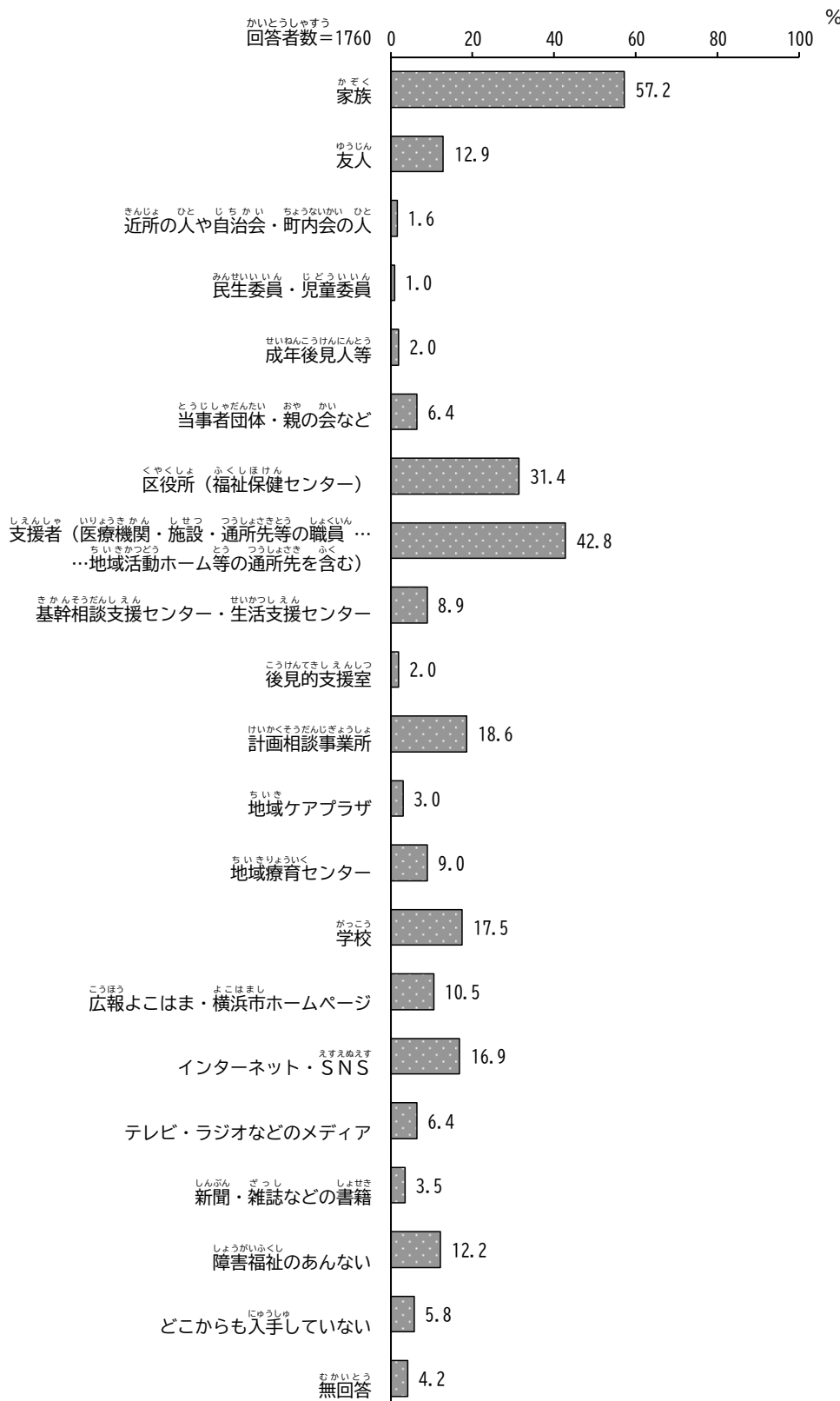
問15 普段の生活で外出する時や、外出したいと思う時に困ることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

「人の目が気にかかる」の割合が 34.9%、「道路や駅に階段や段差が多い」が 25.2%、「利用する建物の設備（トイレ・エレベータなど）の不備・少ない」が 24.7%の順に高くなっています。一方、「困ることはない」の割合は 18.0%となっています。



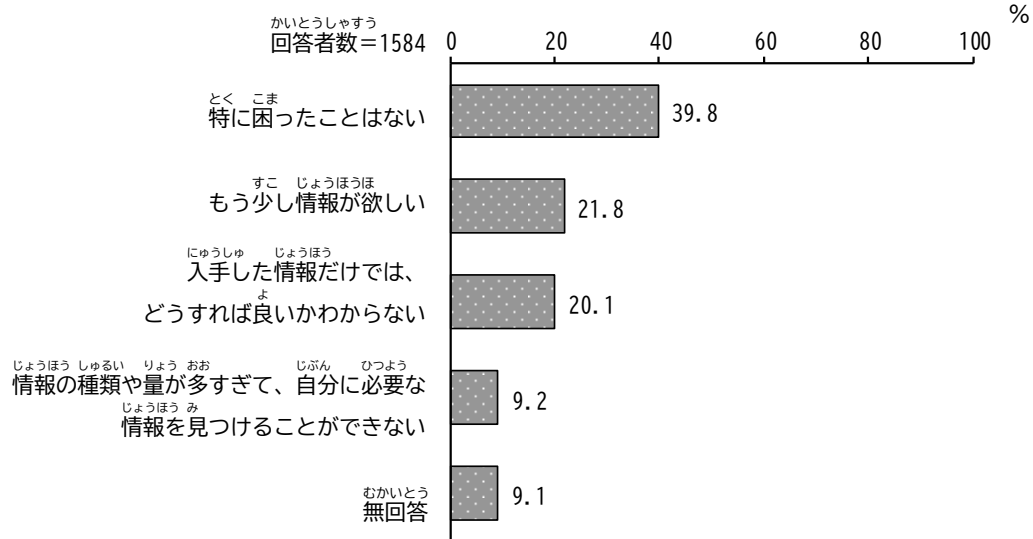
問16 現在、障害福祉にかかわる情報について、どこから（誰から）情報を入手していますか。（〇はいくつでも）

「家族」の割合が57.2%、「支援者（医療機関・施設・通所先等の職員…地域活動ホームなどの通所先を含む）」が42.8%、「区役所（福祉保健センター）」が31.4%の順に高くなっています。一方、「どこからも入手していない」の割合は5.8%となっています。



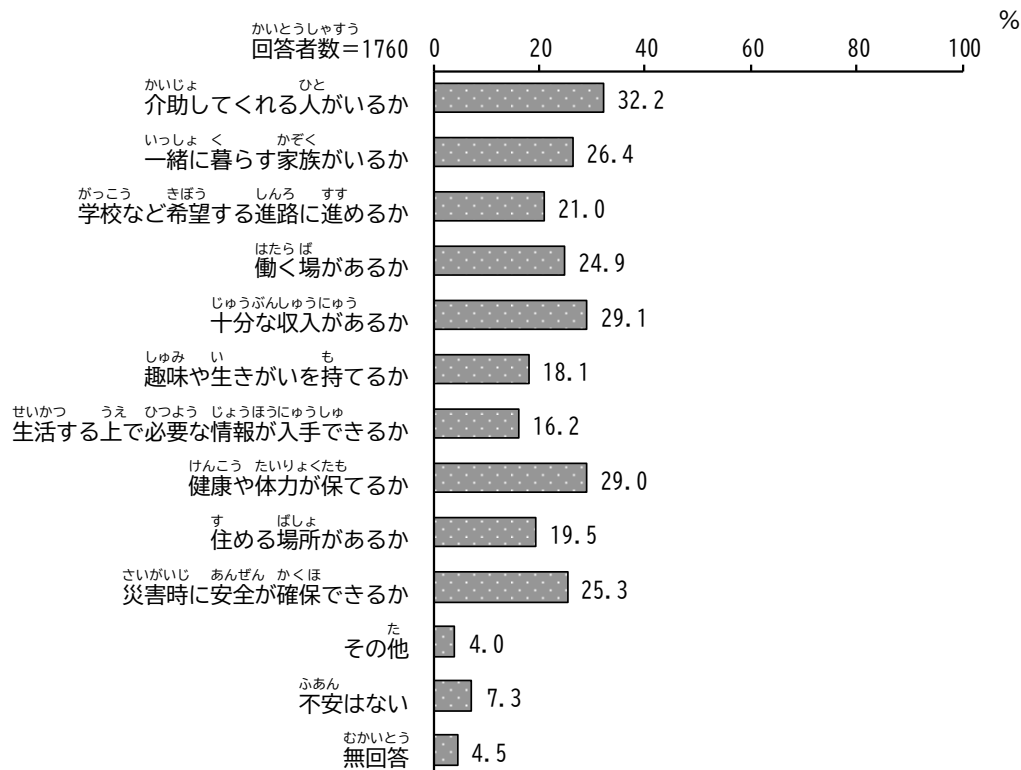
問16-1 問16の場所や人から入手した情報について、困ったことはありますか。(〇は1つだけ)

「特に困ったことはない」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「もう少し情報が欲しい」の割合が 21.8%、「入手した情報だけでは、どうすれば良いかわからない」の割合が 20.1%、「情報の種類や量が多すぎて、自分に必要な情報を見つけることができない」の割合が 9.2%となっています。



問17 あなたは将来（6年後）に不安がありますか。とくに不安を感じることを次の中から3つまで選んで〇をつけてください。(〇は3つまで)

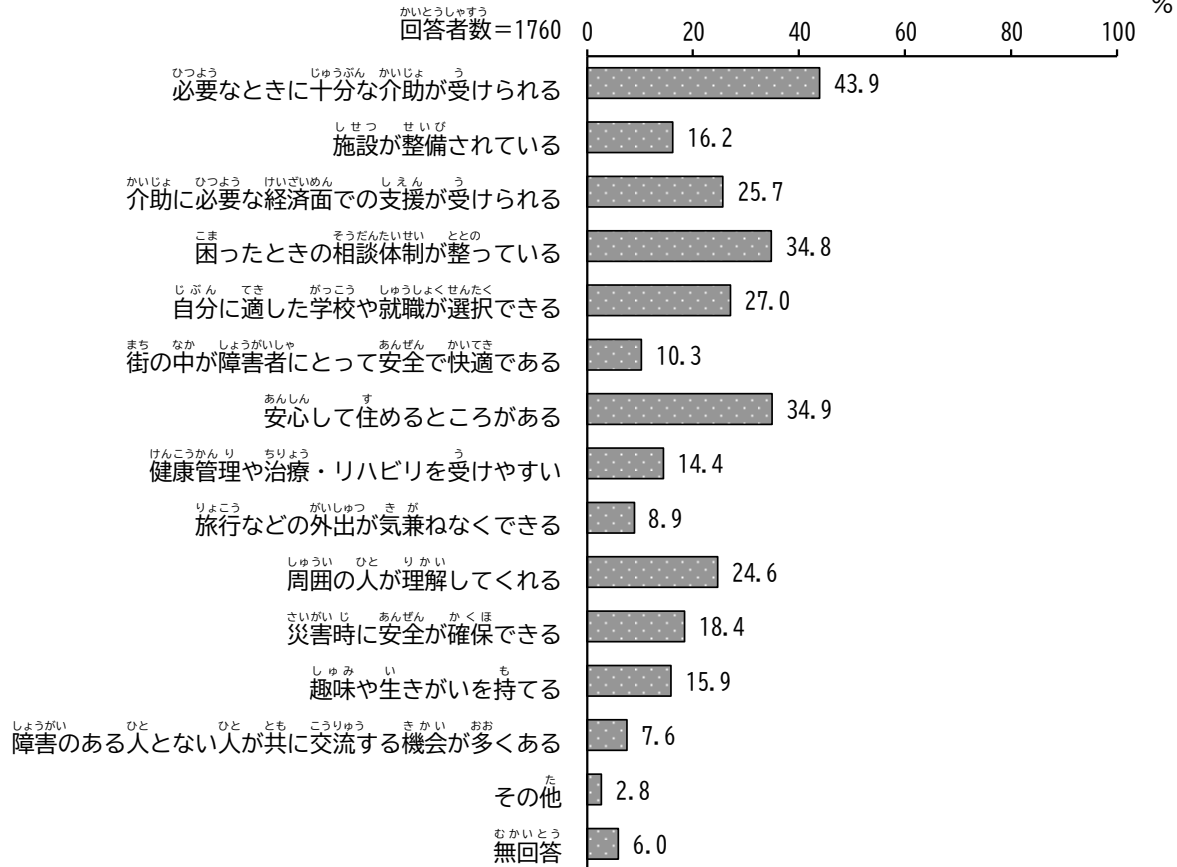
「介助してくれる人がいるか」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「十分な収入があるか」の割合が 29.1%、「健康や体力が保てるか」の割合が 29.0%となっています。



問18 将来（6年後）の理想の社会や生活を考えたとき、あなたが特に重要と思うものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

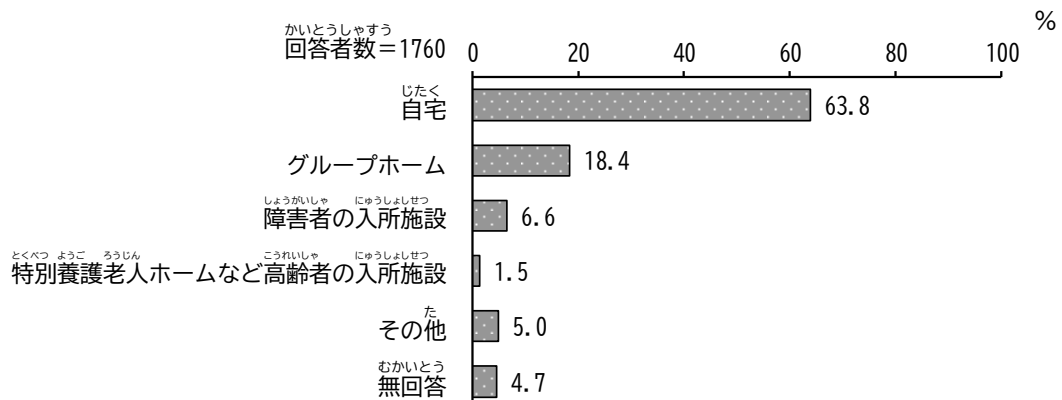
※障害者プランの計画期間が6年間のため、6年後の近い将来についてお聞きします。

「必要なときに十分な介助が受けられる」の割合が43.9%と最も高く、次いで「安心して住めるところがある」の割合が34.9%、「困ったときの相談体制が整っている」の割合が34.8%となっています。



問19 あなたは将来（6年後）どこで生活したいと考えますか。（○は1つだけ）

「自宅」の割合が63.8%と最も高く、次いで「グループホーム」の割合が18.4%となっています。「障害者の入所施設」「特別養護老人ホームなど高齢者の入所施設」は1割以下で拮抗しています。



【記入者別と将来生活したいところのクロス】

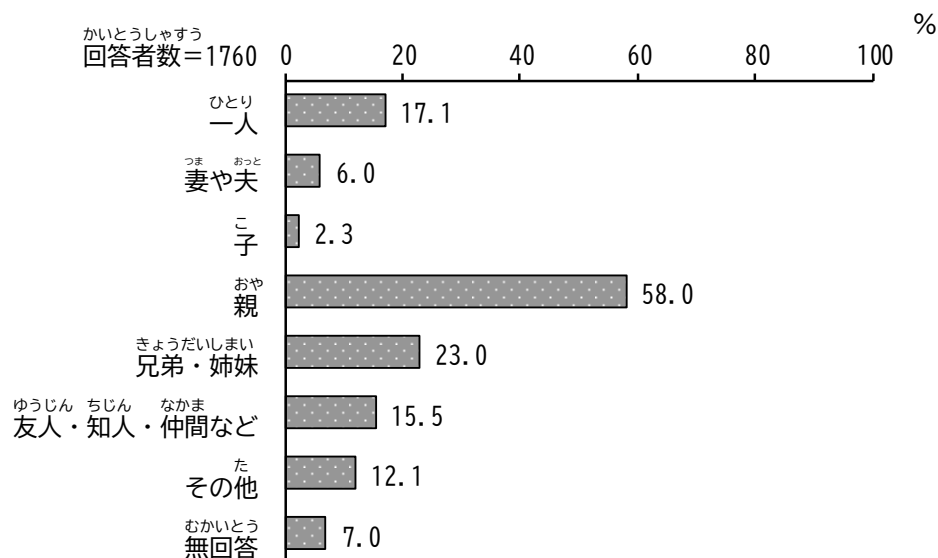
記入者別にみると、「ご本人」・「ご家族」で「自宅」の割合が高いのに対し、「支援者（施設・医療機関の職員等）」・「成年後見人等」では「グループホーム」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19 将来、生活したいところ					
			自宅	グループホーム	障害者の入所施設	高齢者の入所施設	特別養護老人ホームなど	その他
全 体		1,760	63.8	18.4	6.6	1.5	5.0	4.7
問1 アンケート記入者	ご本人	522	66.1	14.6	1.9	1.7	10.9	4.8
	ご家族	1,130	67.3	17.1	7.9	0.9	2.2	4.6
	支援者（施設・医療機関の職員等）	77	6.5	57.1	18.2	7.8	3.9	6.5
	成年後見人等	12	16.7	25.0	25.0	16.7	8.3	8.3
	その他	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19-1 将来（6年後）どなたと暮らしたいですか。（○はいくつでも）

「親」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」の割合が 23.0%、「一人」の割合が 17.1%となっています。



【記入者別と将来暮らしたい人のクロス】

記入者別にみると、「ご本人」・「ご家族」で「親」、「支援者（施設・医療機関の職員等）」で「友人・知人・仲間など」、「成年後見人等」で「一人」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19－1 将来、暮らしたい人							
			一人	妻や夫	子こ	親おや	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人・	その他
全 体		1,760	17.1	6.0	2.3	58.0	23.0	15.5	12.1	7.0
問1 アンケート記入者	ご本人	522	36.4	15.9	5.9	38.5	15.7	14.8	12.3	6.5
	ご家族	1,130	8.7	1.7	0.8	71.5	28.0	14.7	10.1	6.2
	支援者（施設・医療機関の職員等）	77	5.2	1.3	0.0	5.2	2.6	29.9	40.3	18.2
	成年後見人等	12	41.7	0.0	0.0	25.0	16.7	16.7	25.0	16.7
	その他	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

【居住別と将来暮らしたい人のクロス】

居住別にみると、「自宅（親など家族と同居）」では「親」、「自宅（一人暮らし）」では「一人」、「グループホーム」では「友人・知人・仲間など」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19-1 将来、暮らしたい人							
			一人	妻や夫	子	親	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人・その他	無回答
全 体		1,760	17.1	6.0	2.3	58.0	23.0	15.5	12.1	7.0
問3 現在暮らしている場所	自宅（親など家族と同居）	1,397	14.0	6.5	2.6	70.2	27.5	12.2	8.5	5.2
	自宅（一人暮らし）	59	78.0	11.9	1.7	5.1	6.8	8.5	11.9	3.4
	グループホーム	211	21.3	2.4	0.5	11.4	6.6	34.1	28.0	12.3
	障害児・者の入所施設（児童養護施設を含む）	57	8.8	0.0	0.0	7.0	0.0	26.3	31.6	33.3
	高齢者施設、高齢者向け住宅	13	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	15.4	23.1
	病院（入院中）	10	10.0	0.0	0.0	50.0	20.0	30.0	40.0	10.0

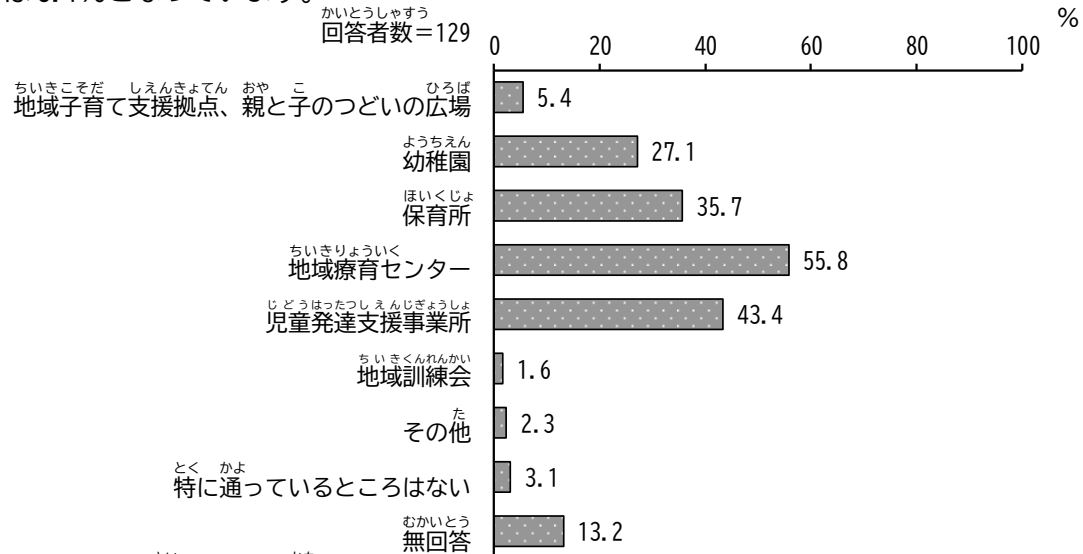
あなたの地域での生活状況についておたずねします

問20 あなたが普段通っている場所について教えてください。(〇はいくつでも)

※年齢について無回答の方は、年齢区分別の回答者数に含めていません。

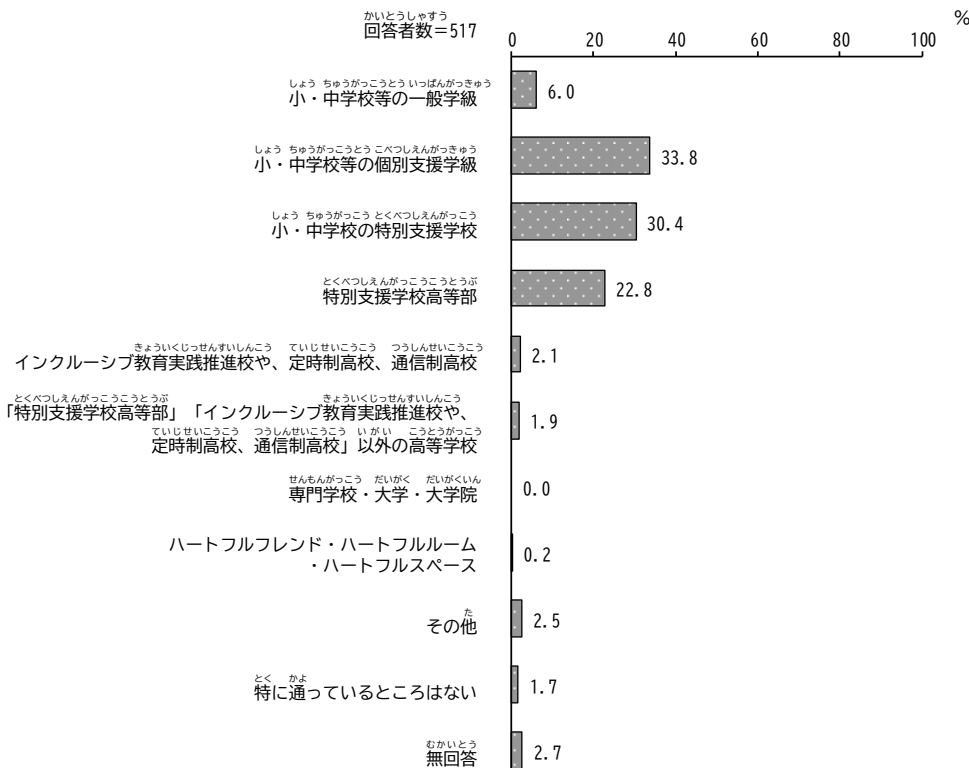
【未就学（おおむね6歳まで）の方】

「未就学（おおむね6歳まで）の方」では、「地域療育センター」が55.8%、「児童発達支援事業所」が43.4%、「保育所」が35.7%等の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は3.1%となっています。



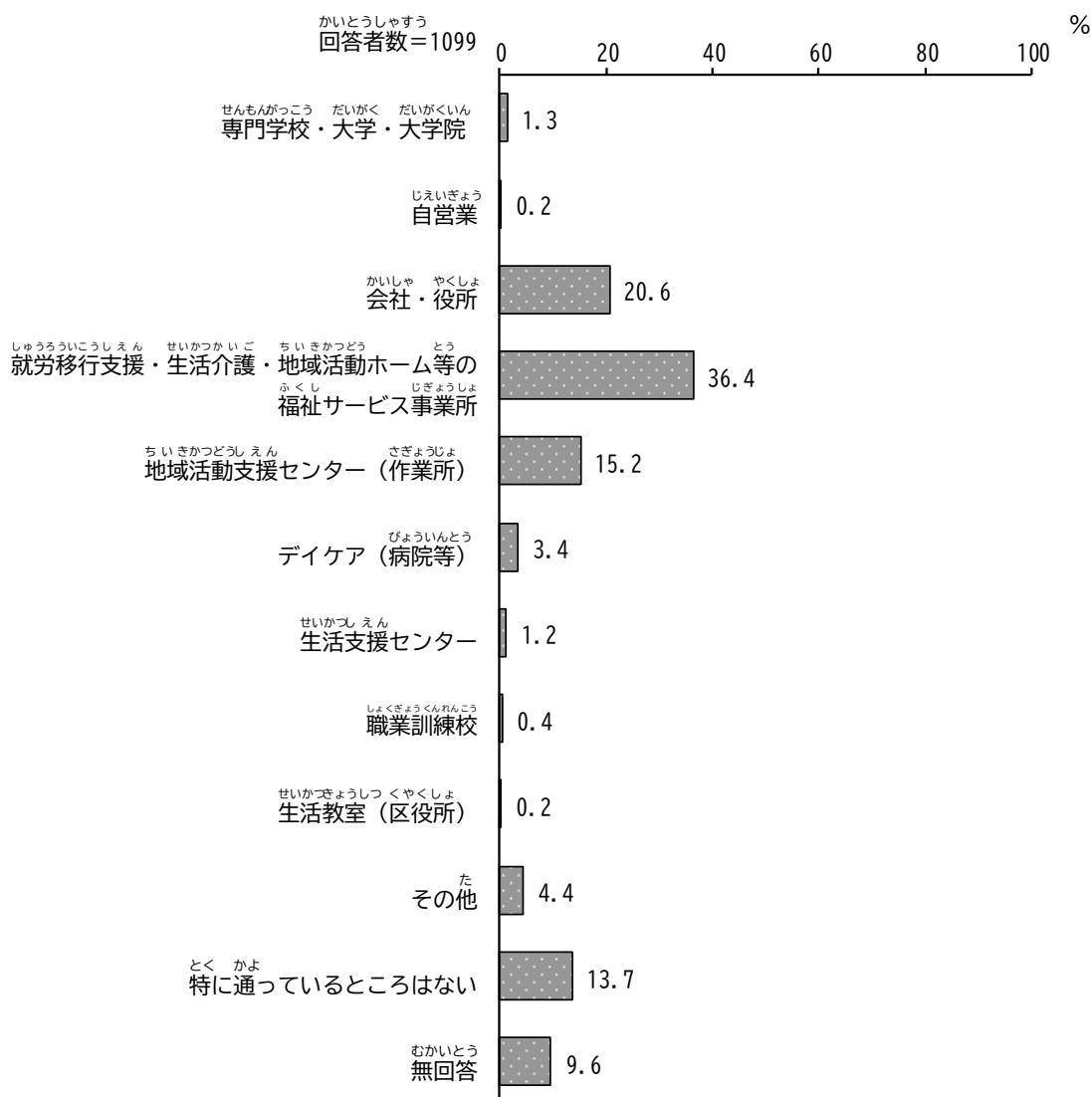
【学齢期（おおむね18歳まで）の方】

「学齢期（おおむね18歳まで）の方」では、「小・中学校等の個別支援学級」が33.8%、「小・中学校の特別支援学校」が30.4%、「特別支援学校高等部」が22.8%の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は1.7%となっています。



【青年期（おおむね 18歳以上）以降の方】

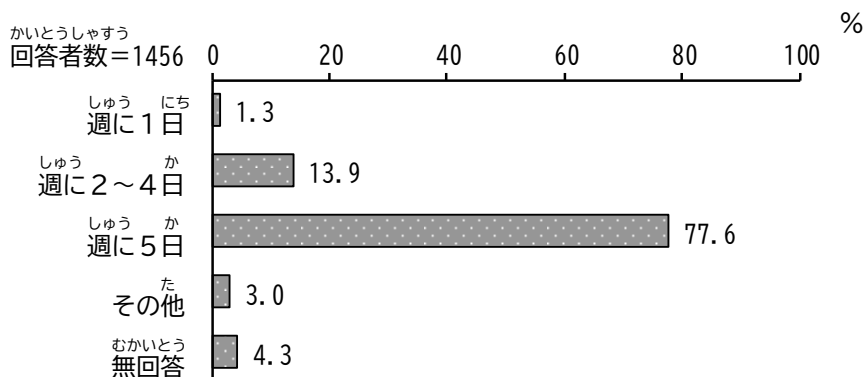
「青年期（おおむね 18歳以上）以降の方」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」が 36.4%、「会社・役所」が 20.6%等の順となっており、一方、「特に通っていない」との割合は 13.7%となっています。



※次からの設問（問20－1～問20－7）は、最も多く通っているところについてお答えください。

問20－1 利用の回数は、週に何回ですか。（○は1つだけ）

「週に5日」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「週に2～4日」の割合が 13.9%、「週に1日」の割合が 1.3%となっています。



【年齢区分別と利用回数のクロス】

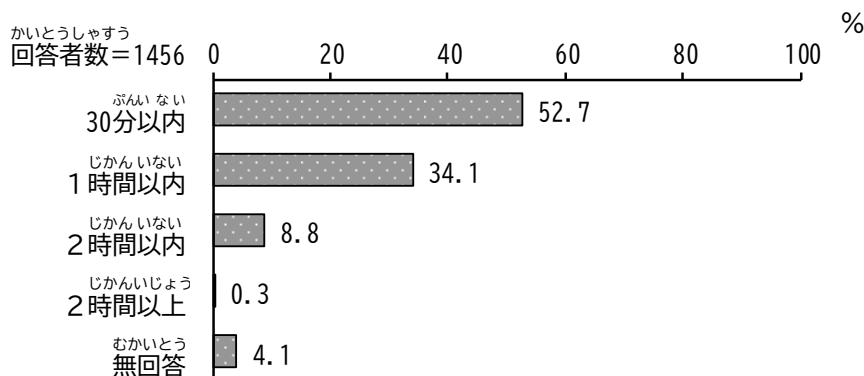
年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」について「週に5日」の割合がそれぞれ 58.3%、86.8%、78.3%と最も高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20－1 普段通っている場所の利用回数は、週に何回か				
			週に1日	週に2～4日	週に5日	その他	無回答
全 体		1,456	1.3	13.9	77.6	3.0	4.3
問2 年齢	未就学	108	1.9	38.0	58.3	0.0	1.9
	学齢期	494	1.0	6.7	86.8	2.4	3.0
	青年期	572	0.5	13.1	78.3	3.1	4.9

問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかりますか。最も多く通
 っているところについてお答えください。(○は1つだけ)

「30分以内」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「1時間以内」の割合が 34.1%、「2時間以内」
 の割合が 8.8%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等時間】

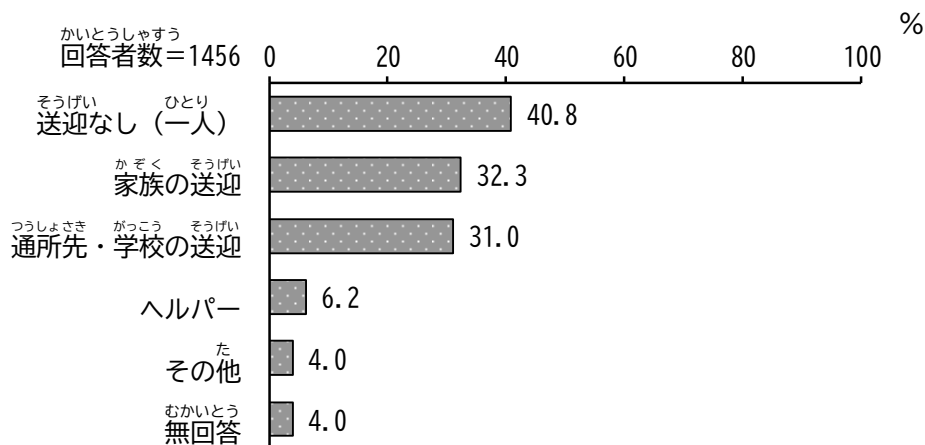
年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」で「30分以内」の割合が、それぞれ 81.5%、60.5%、
 42.7%と、最も高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかるか				
		30分以内	1時間以内	2時間以内	2時間以上	無回答
全体	1,456	52.7	34.1	8.8	0.3	4.1
2 年齢	未就学	81.5	15.7	1.9	0.0	0.9
	学齢期	60.5	31.0	6.5	0.0	2.0
	青年期	42.7	40.0	12.4	0.3	4.5

問20-3 通園・通学・通勤・通所に送迎がありますか。(〇はいくつでも)

「送迎なし（一人）」の割合が40.8%と最も高く、次いで「家族の送迎」の割合が32.3%、「通所先・学校の送迎」の割合が31.0%となっています。



【年齢区分別と通勤・通学等の送迎のクロス】

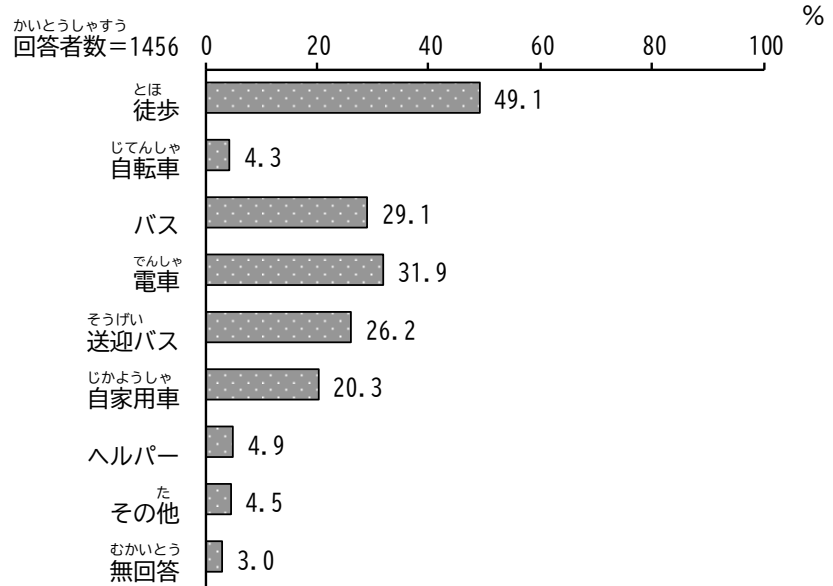
年齢区分別にみると、「未就学」では「家族の送迎」が79.6%、「学齢期」では「家族の送迎」が48.0%、「青年期」では「送迎なし（一人）」が52.8%で高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20-3 通園・通学・通勤・通所に送迎があるか					
			送迎なし (一人)	家族の送迎	通所先・ 学校の送迎	ヘルパー	その他	無回答
全体		1,456	40.8	32.3	31.0	6.2	4.0	4.0
問2 年齢	未就学	108	0.9	79.6	38.9	0.0	0.0	0.0
	学齢期	494	30.2	48.0	36.2	6.3	4.9	1.8
	青年期	572	52.8	21.5	24.8	7.9	3.1	5.2

問20-4 現在、通園・通学・通勤・通所のときには、何を利用していますか。
(○はいくつでも)

「徒歩」の割合が49.1%と最も高く、次いで「電車」の割合が31.9%、「バス」の割合が29.1%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等を利用するもののクロス】

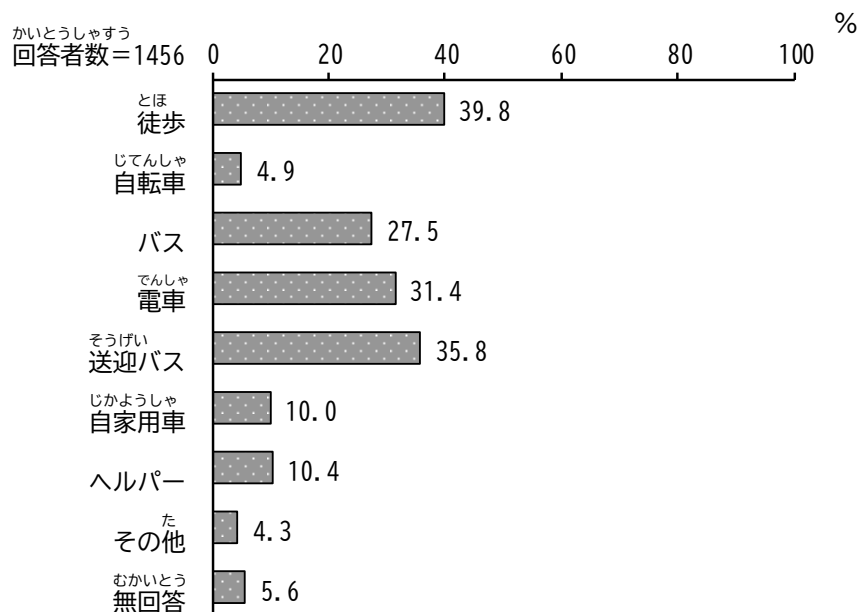
年齢区分別にみると、「未就学」では「送迎バス」が39.8%、「学齢期」では「徒歩」が59.9%、「青年期」では「電車」が49.1%で高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20-4 通園・通学・通勤・通所時に利用するもの								
			徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答
全体		1,456	49.1	4.3	29.1	31.9	26.2	20.3	4.9	4.5	3.0
問2 年齢	未就学	108	30.6	29.6	17.6	6.5	39.8	35.2	0.0	1.9	0.0
	学齢期	494	59.9	3.8	18.4	16.0	29.4	27.3	5.9	6.5	1.6
	青年期	572	47.9	1.2	37.9	49.1	21.5	17.8	6.3	3.1	3.8

問20-5 今後、通園・通学・通勤・通所のときには、できれば何を利用したいですか。
(○はいくつでも)

「徒歩」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「送迎バス」の割合が 35.8%、「電車」の割合が 31.4%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等に利用したいもののクロス】

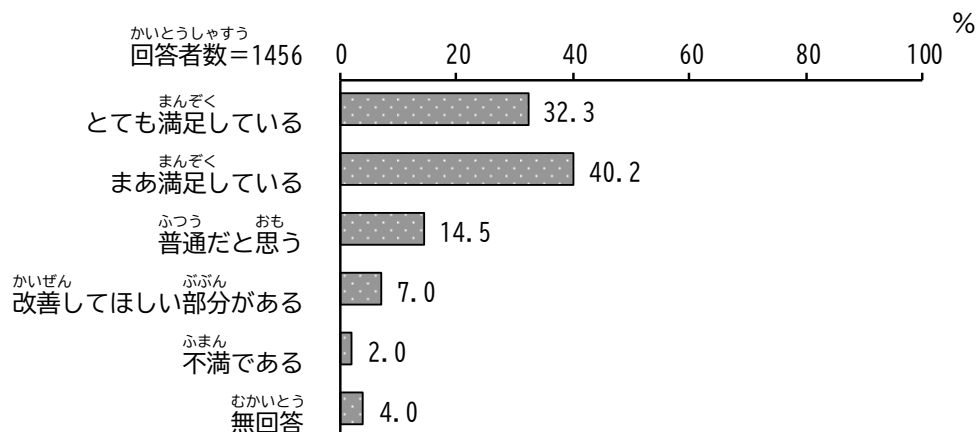
年齢区分別にみると、「未就学」では「送迎バス」が 63.9%、「学齢期」では「徒歩」が 46.0%、「青年期」では「電車」が 44.8%で高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20-5 通園・通学・通勤・通所時に利用したいもの								
			徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答
全 体		1,456	39.8	4.9	27.5	31.4	35.8	10.0	10.4	4.3	5.6
問2 年齢	未就学	108	32.4	22.2	14.8	5.6	63.9	15.7	6.5	2.8	0.9
	学齢期	494	46.0	5.5	24.5	23.7	39.5	14.0	14.6	4.3	3.8
	青年期	572	41.1	2.3	32.9	44.8	28.0	8.0	10.5	2.8	6.8

問20-6 主に利用している学校、仕事の場、施設（問20の回答）には満足していますか。
（○は1つだけ）

「とても満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が72.5%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤先の満足度のクロス】

年齢区分別にみると、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた“満足している”は、「未就学」で83.3%、「学齢期」で76.3%、「青年期」では70.1%となっています。一方、「学齢期」で「不満である」が2.4%、「青年期」で「改善してほしい部分がある」が8.0%と他より高くなっています。

		回答者数 (件)	問20－6 主に利用している学校、仕事の場、施設の満足度						
			ている	とも満足し ている	いる	まあ満足して いる	普通だと思 う	改善してほ しい部分があ る	不満である
全 体		1,456	32.3	40.2	14.5	7.0	2.0	4.0	
問2 年齢	未就学	108	44.4	38.9	4.6	3.7	0.9	7.4	
	学齢期	494	35.8	40.5	11.1	7.7	2.4	2.4	
	青年期	572	28.8	41.3	15.6	8.0	1.9	4.4	

【普段通っているところ別（未就学）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では「地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場」で「とても満足している」の割合が高く、「幼稚園」で「改善してほしい部分がある」の割合が比較的高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の間、施設の満足度					
			とても満足している	まあ満足している	普通だと思ふ	改善してほしい部分がある	不満である	無回答
全 体		1,456	32.3	40.2	14.5	7.0	2.0	4.0
問20 普段通っているところ（未就学）	地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	幼稚園	38	34.2	36.8	5.3	10.5	0.0	13.2
	保育所	46	43.5	43.5	6.5	0.0	2.2	4.3
	地域療育センター	74	44.6	40.5	8.1	1.4	1.4	4.1
	児童発達支援事業所	58	37.9	39.7	6.9	5.2	1.7	8.6
	地域訓練会	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校で「とても満足している」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の間、施設の満足度					
			とても満足している	まあ満足している	普通だと思ふ	改善してほしい部分がある	不満である	無回答
全 体		1,456	32.3	40.2	14.5	7.0	2.0	4.0
問20 普段通っているところ（学齢期）	小・中学校等の一般学級	31	12.9	45.2	32.3	3.2	0.0	6.5
	小・中学校等の個別支援学級	178	25.8	44.9	11.2	10.7	3.9	3.4
	小・中学校の特別支援学校	158	47.5	35.4	7.6	7.0	0.6	1.9
	特別支援学校高等部	119	37.0	40.3	10.9	5.9	2.5	3.4
	インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校	11	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校	10	60.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	専門学校・大学・大学院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ハートフルフレンド・ハートフルルーム・ハートフルスペース	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	30.8	53.8	7.7	0.0	7.7	0.0

【普段通っているところ別（青年期）と満足度のクロス】

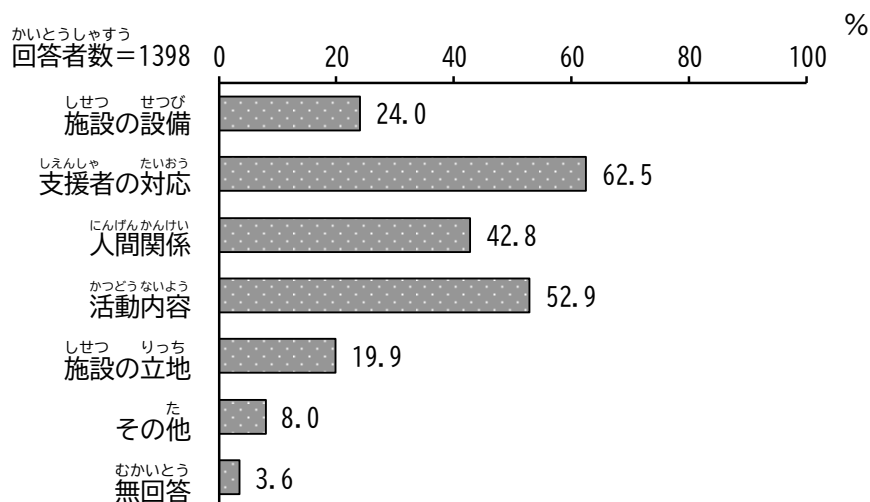
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」、「地域活動支援センター（作業所）」で“満足している”の割合が高く、「生活支援センター」で「不満である」の割合が比較的高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事、施設、サービスの満足度										
			している	とても満足	ている	まあ満足し	う	普通だと思	ある	しい部分が	改善してほ	不満である	無回答
全 体		1,456	32.3	40.2	14.5		7.0	2.0	4.0				
問20 普段通 っているとこ ろ（青年期）	専門学校・大学・大学院	14	21.4	21.4	28.6		7.1	7.1	14.3				
	自営業	2	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	100.0				
	会社・役所	228	31.6	32.0	21.9		8.8	1.3	4.4				
	就労移行支援・生活介護・地域活動 ホーム等の福祉サービス事業所	402	27.1	45.5	17.9		6.0	1.7	1.7				
	地域活動支援センター（作業所）	168	28.0	43.5	13.1		8.9	4.2	2.4				
	デイケア（病院等）	37	27.0	37.8	8.1		8.1	2.7	16.2				
	生活支援センター	13	38.5	30.8	7.7		7.7	7.7	7.7				
	職業訓練校	4	25.0	25.0	25.0		0.0	0.0	25.0				
	生活教室（区役所）	2	0.0	50.0	50.0		0.0	0.0	0.0				
	その他	49	28.6	34.7	8.2		14.3	2.0	12.2				

問20-7 問20-6で回答した理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「支援者の対応」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「活動内容」の割合が 52.9%、「人間関係」の割合が 42.8%となっています。



【年齢区分別と満足度の理由のクロス】

年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」の「支援者の対応」の割合がそれぞれ 82.0%、66.6%、60.5%と、最も高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由						
		施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全体	1,398	24.0	62.5	42.8	52.9	19.9	8.0	3.6
問2 年齢	未就学	100	82.0	41.0	63.0	20.0	3.0	0.0
	学齢期	482	66.6	45.9	57.5	19.1	7.5	2.7
	青年期	547	60.5	43.5	51.7	21.9	9.1	3.3

【普段通っているところ別（未就学）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では、すべての場所で「支援者の対応」の割合が高くなっています。また、「地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場」「その他」以外で「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由						
			施設 の設 備	対 応	支 援 者 の 対 応	人 間 関 係	活 動 内 容	施 設 の 立 地	そ の 他
全 体		1,398	24.0	62.5	42.8	52.9	19.9	8.0	3.6
問20 普段通っている ところ（未就学）	地域子育て支援拠点、 親と子のつどいの広場	7	28.6	85.7	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0
	幼稚園	33	30.3	72.7	39.4	54.5	12.1	3.0	3.0
	保育所	44	18.2	77.3	45.5	63.6	22.7	4.5	0.0
	地域療育センター	71	23.9	85.9	39.4	62.0	19.7	1.4	1.4
	児童発達支援事業所	53	26.4	86.8	30.2	62.3	18.9	5.7	1.9
	地域訓練会	2	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	4	25.0	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「小・中学校の特別支援学校」で「支援者の対応」、「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」で「人間関係」、「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校で「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由						
			施設 の設 備	支 援 者 の 対 応	人 間 関 係	活 動 内 容	施 設 の 立 地	そ の 他	無 回 答
全 体		1,398	24.0	62.5	42.8	52.9	19.9	8.0	3.6
問20 普段通っているところ (学齢期)	小・中学校等の一般学級	29	20.7	37.9	51.7	34.5	27.6	13.8	10.3
	小・中学校等の個別支援学級	172	11.6	64.0	48.8	54.7	20.9	8.1	3.5
	小・中学校の特別支援学校	155	35.5	77.4	40.6	65.2	17.4	5.2	1.3
	特別支援学校高等部	115	28.7	63.5	45.2	54.8	17.4	5.2	1.7
	インクルーシブ教育実践推進校 や、定時制高校、通信制高校	11	18.2	63.6	72.7	63.6	9.1	27.3	0.0
	「特別支援学校高等部」 「インクルーシブ教育実践 推進校や、定時制高校、 通信制高校」以外の高等学校	9	11.1	44.4	55.6	77.8	0.0	0.0	11.1
	専門学校・大学・大学院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ハートフルフレンド・ハートフル ルーム・ハートフルスペース	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	23.1	76.9	69.2	53.8	38.5	23.1	0.0

【普段通っているところ別（青年期）と満足度の理由のクロス】

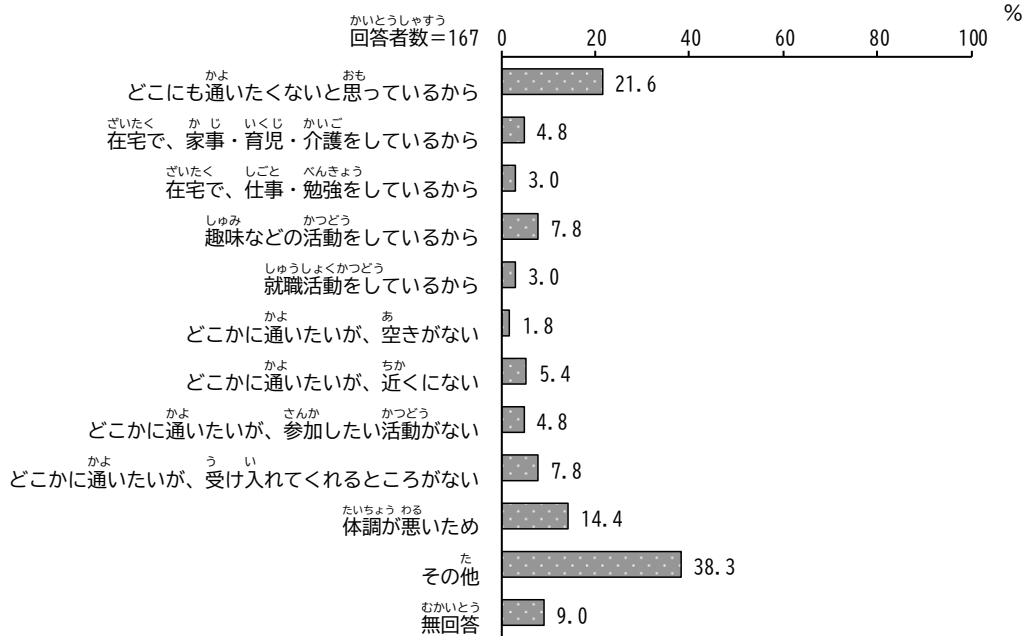
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」で「支援者の対応」「活動内容」、「専門学校・大学・大学院」で「人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-7 満足度の理由						
			施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全 体		1,398	24.0	62.5	42.8	52.9	19.9	8.0	3.6
問20 普段通っているところ（青年期）	専門学校・大学・大学院	12	41.7	33.3	58.3	33.3	33.3	16.7	16.7
	自営業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社・役所	218	19.3	31.2	54.1	35.8	14.2	15.1	6.4
	就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所	395	27.3	72.7	34.2	57.2	22.8	5.6	3.3
	地域活動支援センター（作業所）	164	24.4	63.4	41.5	50.0	24.4	7.3	2.4
	デイケア（病院等）	31	29.0	61.3	45.2	29.0	25.8	9.7	12.9
	生活支援センター	12	41.7	58.3	50.0	33.3	16.7	25.0	16.7
	職業訓練校	3	66.7	100.0	66.7	100.0	33.3	0.0	0.0
	生活教室（区役所）	2	50.0	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	その他	43	14.0	46.5	53.5	53.5	25.6	16.3	0.0

問20-8 問20で「特に通っているところはない」と答えた方は、通っていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が21.6%と最も高く、次いで「体調が悪いため」の割合が14.4%、「趣味などの活動をしているから」「どこかに通いたいが、受け入れてくれるところがない」の割合が7.8%となっています。



【年齢区分別とどこにも通っていない理由のクロス】

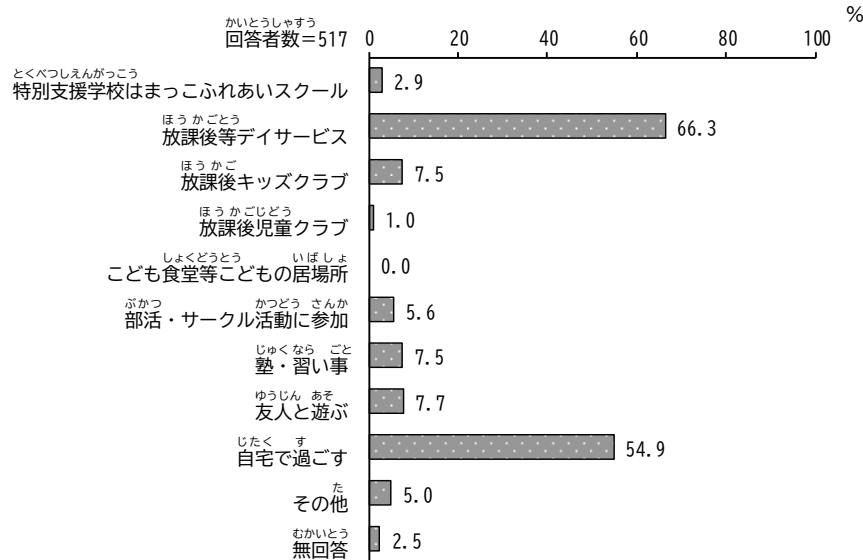
年齢区分別にみると、「学齢期」では「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が55.6%で最も高く、「青年期」では、「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が20.3%、「趣味などの活動をしているから」が12.5%、「体調が悪いため」が10.9%の順に高くなっています。

単位：%

		回答者数(件)	問20-8 普段どこにも通っていない理由											
			いるから	どこにも通いたくないと思っ ているから	在宅で、家事・育児・介護をして いるから	在宅で、仕事・勉強をしている から	趣味などの活動をしているから	就職活動をしているから	どこかに通いたいが、空気がない	どこかに通いたいが、近くにない	どこかに通いたいが、参加した い活動がない	どこかに通いたいが、受け入れ てくれるところがない	体調が悪いため	その他
ぜん 体		167	21.6	4.8	3.0	7.8	3.0	1.8	5.4	4.8	7.8	14.4	38.3	9.0
問2 年齢	未就学	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	学齢期	9	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
	青年期	64	20.3	4.7	6.3	12.5	4.7	3.1	6.3	3.1	6.3	10.9	40.6	3.1

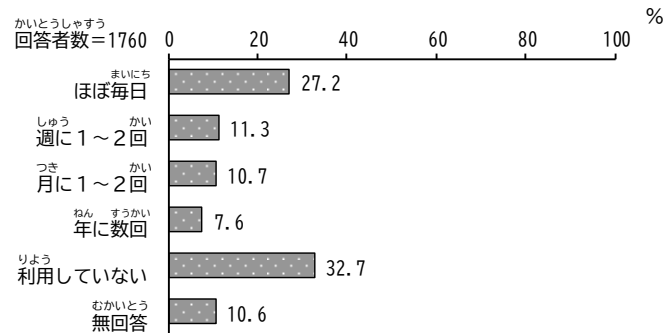
問21 学齢期（小・中・高校など）の方におたずねします。放課後は主にどのように過ごしていますか。（〇はいくつでも）

「放課後等デイサービス」の割合が66.3%と最も高く、次いで「自宅で過ごす」の割合が54.9%、「友人と遊ぶ」の割合が7.7%となっています。



問22 あなたは福祉特別乗車券をどのくらい利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用していない」の割合が32.7%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が27.2%、「週に1～2回」の割合が11.3%となっています。



【年齢区分別と福祉特別乗車券をどのくらい利用しているかのクロス】

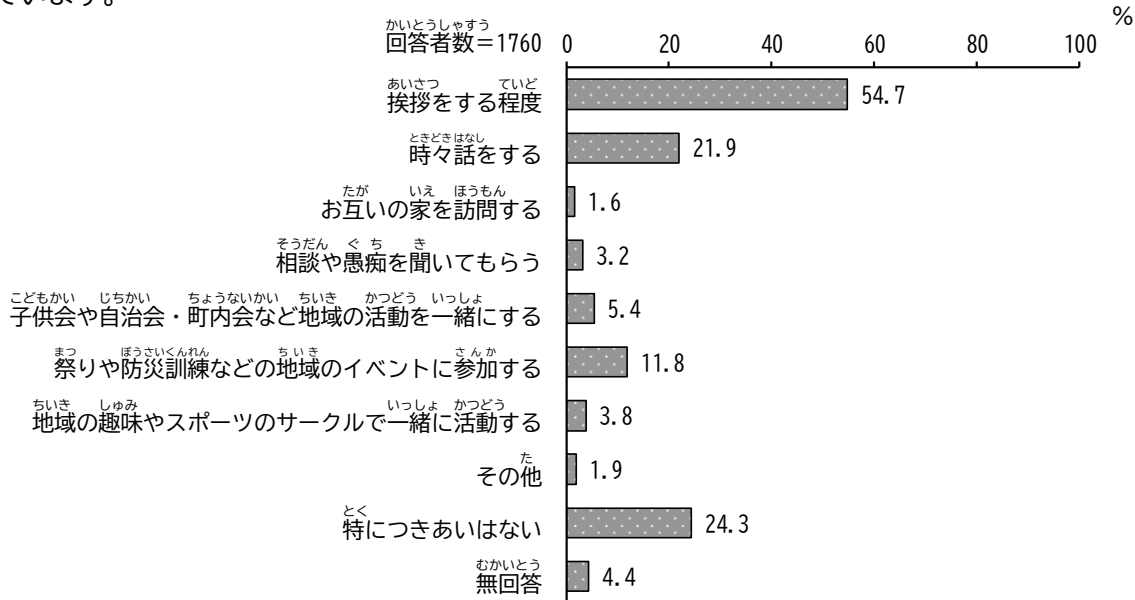
年齢区分別にみると、年齢区分が上がるほど「ほぼ毎日」「週に1～2回」の割合が高く、「利用していない」の割合が低くなっています。

単位：%

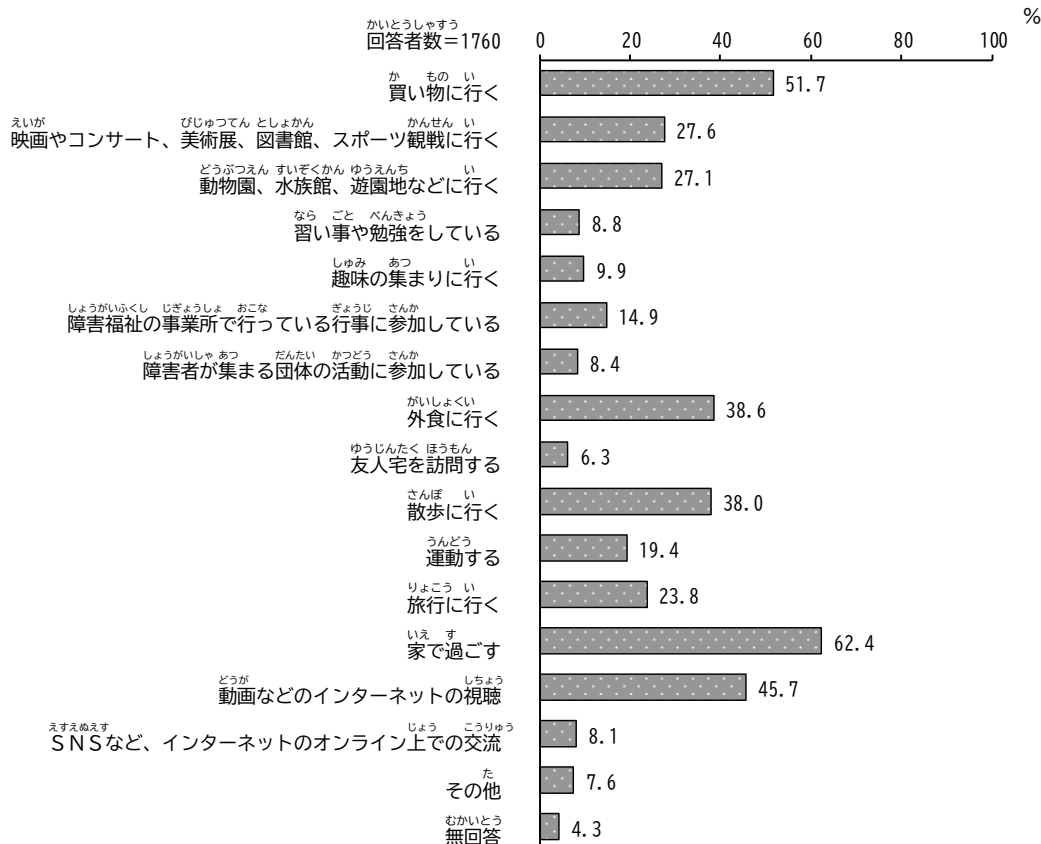
		回答者数 (件)	問22 福祉特別乗車券をどのくらい利用しているか					
			ほぼ毎日	1～2週に	1～2月に	年に数回	利用していない	無回答
全 体		1,760	27.2	11.3	10.7	7.6	32.7	10.6
問2 年齢	未就学	129	0.8	3.9	5.4	4.7	57.4	27.9
	学齢期	517	16.1	13.0	13.0	11.2	46.0	0.8
	青年期	664	40.2	10.1	9.9	6.0	23.5	10.2

近所の人とおつきあいや余暇についておたずねします

問23 あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしたいと思っていますか。(〇はいくつでも)
「挨拶をする程度」の割合が54.7%と最も高く、次いで「時々話をする」の割合が21.9%となっています。

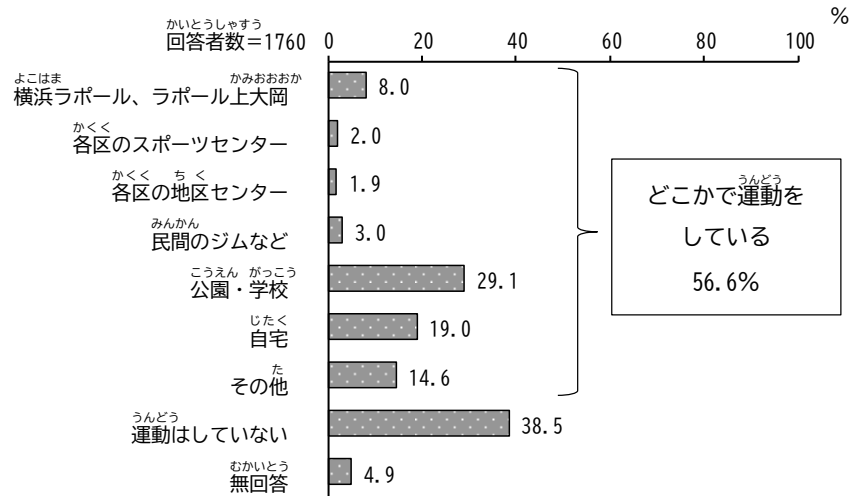


問24 あなたは自由時間や余暇時間をどのように過ごしたいですか。(〇はいくつでも)
「家で過ごす」の割合が62.4%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が51.7%、「動画などのインターネットの視聴」の割合が45.7%となっています。



問24-1 あなたは、運動をどこでしていますか。(〇はいくつでも)

どこかで運動をしている方は56.6%、運動をしている場所は、「公園・学校」の割合が29.1%、「自宅」が19.0%、「その他」が14.6%の順に高くなっています。一方、「運動はしていない」の割合は38.5%となっています。



【運動をする場所別と健康・医療について必要なことのクロス】

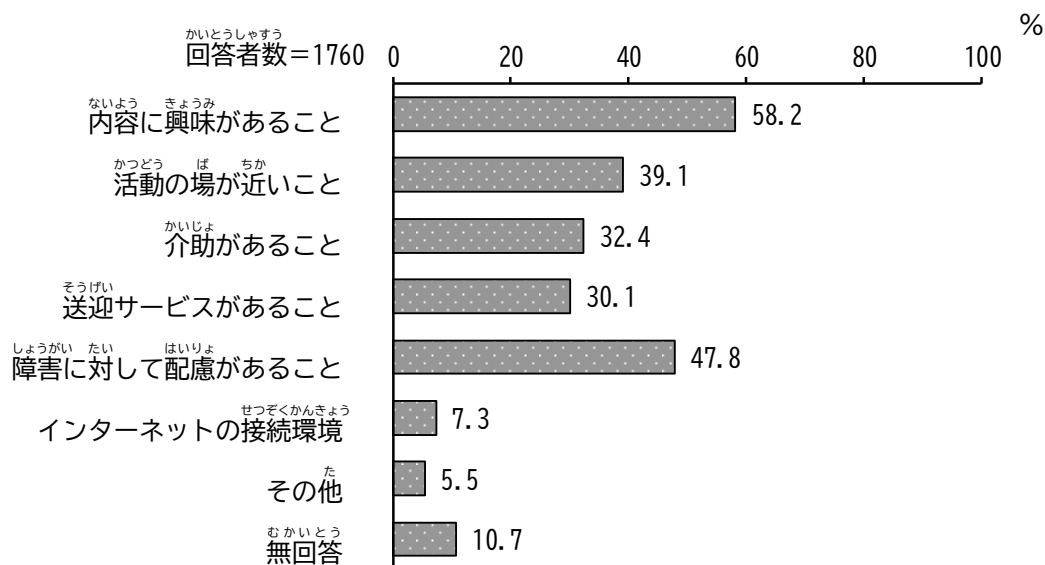
運動をする場所別にみると、「横浜ラポール、ラポール上大岡」「各区の地区センター」「運動はしていない」で「薬の管理」の割合が高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問31 健康・医療について、必要なこと												
			薬の管理	栄養面での管理・指導	口腔ケア・嚥下機能の維持	医療の利用	訪問看護や往診など、在宅	て、相談できる場所	自分の障害・病気について、相談できる場所	自分の体調について、相談できる場所	定期的な健康診断	適度な運動	十分な睡眠と休養	特に何もない	無回答
全 体		1,760	46.8	28.0	28.5	13.6	30.6	25.6	39.0	43.2	40.6	11.6	5.7		
問24－1 運動をする 場所	横浜ラポール、 ラポール上大岡	141	53.9	34.8	32.6	12.1	29.8	36.2	44.7	49.6	41.1	12.8	2.8		
	各区のスポーツ センター	35	45.7	25.7	22.9	5.7	31.4	40.0	51.4	60.0	48.6	8.6	2.9		
	各区の地区セン ター	34	55.9	32.4	26.5	8.8	26.5	26.5	50.0	50.0	47.1	5.9	0.0		
	民間のジムなど	52	42.3	26.9	19.2	1.9	30.8	23.1	40.4	44.2	42.3	17.3	9.6		
	公園・学校	513	43.9	27.5	32.4	10.1	40.2	27.7	37.6	51.1	51.7	10.9	3.5		
	自宅	335	46.0	28.7	26.6	14.3	39.1	30.7	41.2	52.8	46.0	12.5	2.4		
	その他	257	47.5	32.7	27.2	14.0	35.4	31.9	44.4	49.0	46.7	14.0	3.1		
	運動はしていな い	678	50.6	29.1	29.9	17.8	26.1	25.2	39.7	38.1	35.8	10.9	3.5		

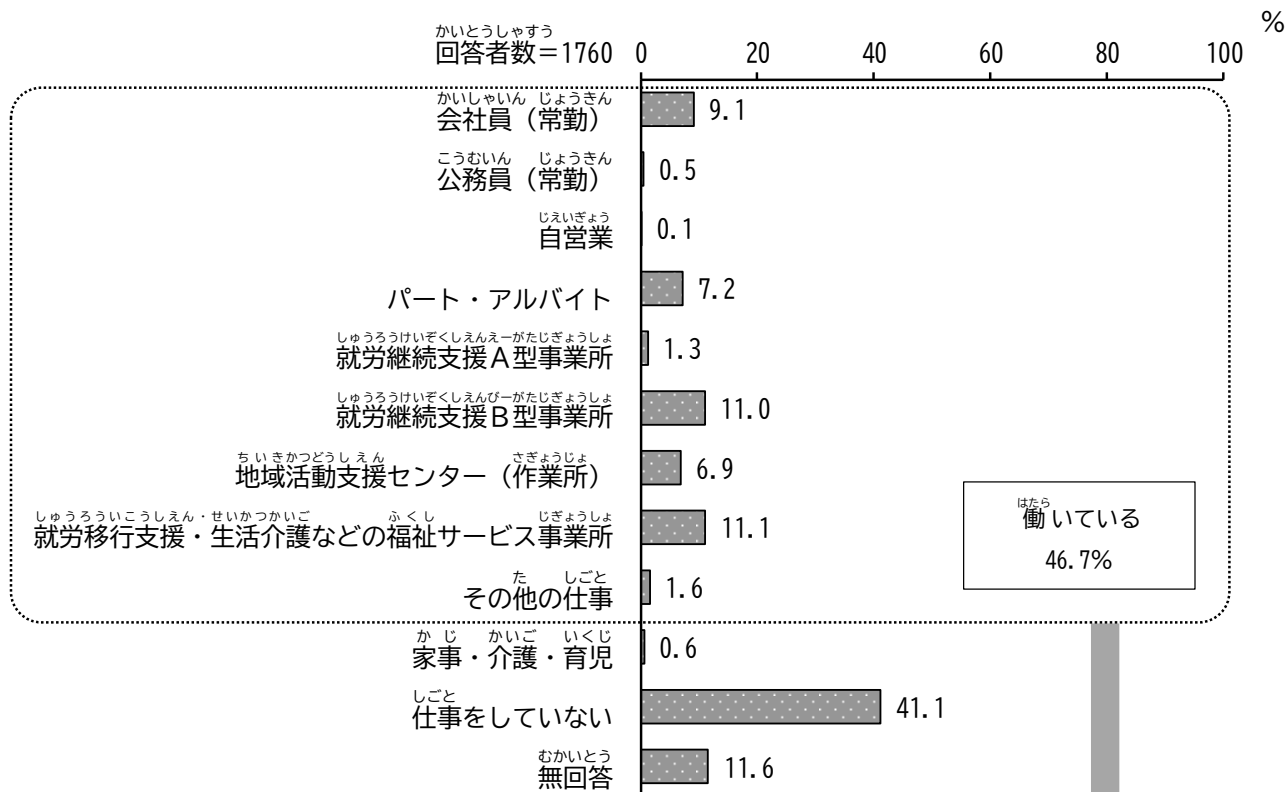
問24-2 今後、学校や職場以外での活動に参加するにはどのようなことが必要ですか。(〇は
いくつでも)

「内容に興味があること」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「障害に対して配慮があること」
の割合が 47.8%、「活動の場が近いこと」の割合が 39.1%となっています。



問25 あなたは、現在どのような仕事をしていますか。(○はいくつでも)

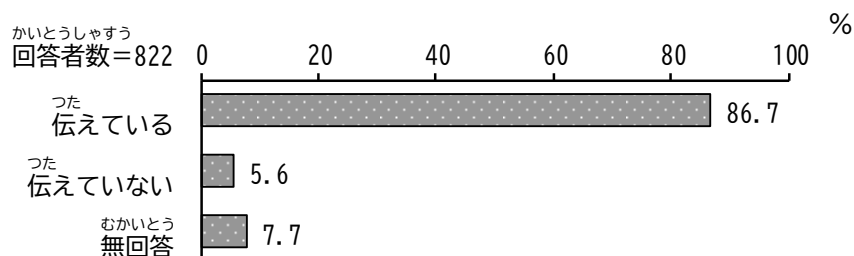
現在働いている方は46.7%、内訳は「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」の割合が11.1%と最も高く、次いで「就労継続支援B型事業所」の割合が11.0%となっています。



問25で「会社員 (常勤)」から「その他の仕事」までに回答した方にうかがいます。「家事・介護・育児」、「仕事をしていない」を回答した方は問25-6へ。

問25-1 自分の障害のことを仕事場の人に伝えてありますか。(○は1つだけ)

「伝えている」の割合が86.7%、「伝えていない」の割合が5.6%となっています。



【就労状況別と自分の障害のことを仕事場の人に伝えているかのクロス】

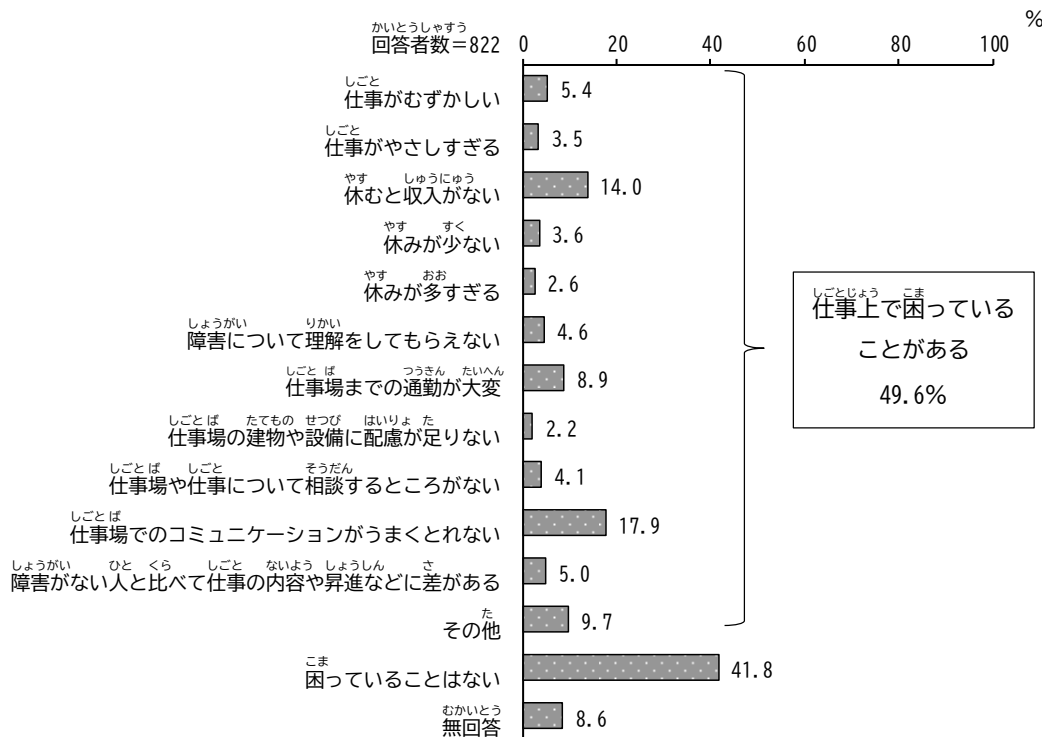
就労状況別みると、「会社員（常勤）」「公務員（常勤）」「就労継続支援A型事業所」で特に「伝えている」が高いものの、どの就労状況でも「伝えている」が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問25-1 自分の障害を仕事場の人に伝えているか		
			伝えている	伝えていない	無回答
全 体		822	86.7	5.6	7.7
問25 現在の 仕事	会社員（常勤）	160	90.6	5.0	4.4
	公務員（常勤）	9	100.0	0.0	0.0
	自営業	2	50.0	50.0	0.0
	パート・アルバイト	126	81.7	14.3	4.0
	就労継続支援A型事業所	22	95.5	4.5	0.0
	就労継続支援B型事業所	193	88.1	4.7	7.3
	地域活動支援センター（作業所）	122	80.3	2.5	17.2
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	195	87.7	3.1	9.2
	その他の仕事	29	86.2	10.3	3.4

問25-2 仕事をしていて困っていることはありますか。（○はいくつでも）

仕事上で困っていることがあると回答した方は、働いている方の49.6%で、「仕事場でのコミュニケーションがうまくとれない」の割合が17.9%、「休むと収入がない」が14.0%、「仕事場までの通勤が大変」が8.9%の順に高くなっています。一方、「困っていることはない」の割合は41.8%となっています。



【就労状況別と仕事での困っていることのクロス】

就労状況別にみると、「パート・アルバイト」、「就労継続支援A型事業所」は「仕事場でのコミュニケーションがうまくとれない」の割合が高くなっています。また、「就労継続支援B型事業所」は「休むと収入がない」の割合が比較的高くなっています。

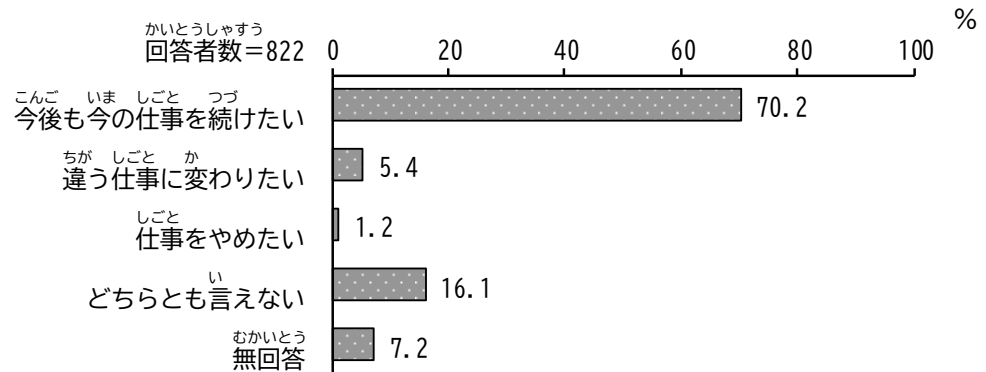
単位：％

		回答者数 (件)	問25-2 仕事を しごと をしていて困 こま っていること								
			い	仕事 しごと が むずかし がる	仕事 しごと が やさし い	休むと 収入が ない	休みが 少ない	休みが 多すぎる	え ない	理解 りかい を しても ら	障害 しょうがい に ついて
ぜん たい		822	5.4	3.5	14.0	3.6	2.6		4.6		8.9
問25 現在 の仕事	会社員 かいしゃいん （常勤 じょうきん ）	160	6.3	5.0	8.1	8.1	1.9		4.4		14.4
	公務員 こうむいん （常勤 じょうきん ）	9	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0		0.0		22.2
	自営業 じまいぎょう	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0
	パート・アルバイト	126	6.3	2.4	23.8	6.3	4.0		13.5		8.7
	就労継続支援A型事業所 しゅうろうけいぞくしえんえーがたじぎょうしよ	22	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0		9.1		4.5
	就労継続支援B型事業所 しゅうろうしえんしえんびーがたじぎょうしよ	193	4.7	3.6	19.2	2.1	2.1		2.1		9.3
	地域活動支援センター （作業所） ちいきりきどうしえんせんたー さぎようじよ	122	8.2	3.3	13.9	0.8	4.1		2.5		5.7
	就労移行支援・生活介護 などの福祉サービス事業所 しゅうろういこうしえんせいいかうかいご などのふくしサービスじぎょうしよ	195	3.6	2.6	8.7	1.5	2.1		2.1		3.6
	その他の仕事 たのしごと	29	6.9	6.9	20.7	3.4	6.9		13.8		24.1

		問25-2 仕事を ^こ して ^ま いて ^ま 困 ^こ っていること													
		配慮 ^{はいりょ} が ^た 足 ^た り ^り な ^な い	仕事場 ^{しごとば} の建物 ^{たてもの} や設備 ^{せつび} に ^に	相談 ^{そうだん} する ^{する} ところ ^{ところ} が ^が な ^な い	仕事場 ^{しごとば} や仕事 ^{しごと} につい ^{につい} て	ない	シ ^し ョ ^ョ ン ^ン が ^が う ^う ま ^ま く ^く と ^と れ ^れ	仕事場 ^{しごとば} で ^で の ^の コ ^こ ミ ^ミ ュ ^ュ ニ ^ニ ケ ^ケ	な ^な どに ^に 差 ^さ が ^が あ ^あ る ^る	て ^て 仕事 ^{しごと} の ^の 内 ^{うち} 容 ^{よう} や ^や 昇 ^{のぼ} 進 ^{しん}	障 ^{しょう} 害 ^{がい} が ^が な ^な い ^い 人 ^{ひと} と ^と 比 ^ひ べ ^べ	そ ^そ の ^の 他 ^た	困 ^こ っ ^っ て ^て い ^い る ^る こ ^こ とは ^は な ^な い	無 ^む 回 ^{かい} 答 ^た	
全 体		2.2	4.1	17.9		5.0	9.7	41.8	8.6						
問25 現在 ^{げんざい} の ^の 仕事 ^{しごと}	会社員 ^{かいしゃいん} （常勤 ^{じょうきん} ）	0.6	3.8	21.3		6.9	5.0	45.0	3.1						
	公務員 ^{こうむいん} （常勤 ^{じょうきん} ）	0.0	0.0	0.0		22.2	22.2	33.3	0.0						
	自営業 ^{じえいぎやう}	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0						
	パート・アルバイト	4.0	10.3	25.4		11.1	12.7	37.3	1.6						
	就労継続支援A型事業所 ^{しゅうろうけいぞくしえんえーがたじぎょうしょ}	0.0	0.0	22.7		0.0	9.1	54.5	9.1						
	就労継続支援B型事業所 ^{しゅうろうしえんしえんびーがたじぎょうしょ}	3.1	1.6	15.5		3.6	5.2	41.5	8.3						
	地域活動支援センター ^{ちいきがくつどうしえんさ} （作業所 ^{さぎょうしょ} ）	3.3	4.1	16.4		2.5	10.7	38.5	20.5						
	就労移行支援・生活介護 ^{しゅうろういこうしえんせいいかつかいご} などの福祉サービス事業所 ^{なんどのふくしサービスじぎょうしょ}	1.5	3.1	14.9		1.5	14.9	42.6	14.4						
	その他の仕事 ^{そ^その^のし^しごと}	6.9	13.8	17.2		6.9	17.2	37.9	0.0						

問25-3 今後も今の仕事を続けたいかについておたずねします。(○は1つだけ)

「今後も今の仕事を続けたい」の割合が70.2%、「どちらとも言えない」の割合が16.1%の順に高くなっています。一方、「仕事をやめたい」の割合は1.2%となっています。



【就労状況別と今の仕事を継続したいかのクロス】

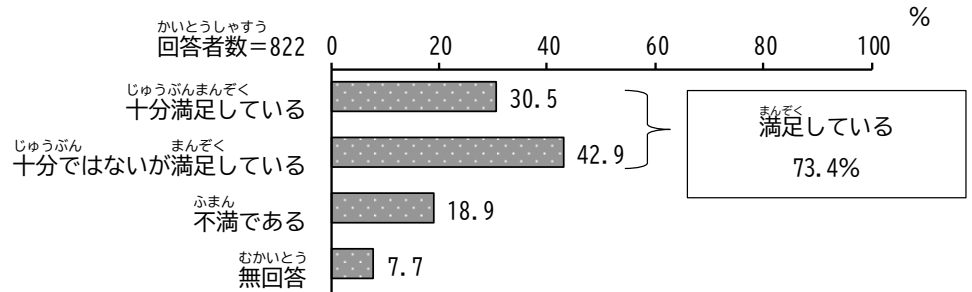
就労状況別にみると、すべての仕事で「今後も今の仕事を続けたい」の割合が高くなっていますが、「就労継続支援A型事業所」「公務員（常勤）」等で「違う仕事に変わりたい」の割合が、他に比較して高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25-3 今後も今の仕事を続けたいか				
			今後も今の仕事を続けたい	り たい	違 う 仕 事 に 変 わ り たい	仕 事 を や め たい	な い
全 体		822	70.2	5.4	1.2	16.1	7.2
問25 現在の仕事	会社員（常勤）	160	73.8	8.8	1.9	13.1	2.5
	公務員（常勤）	9	66.7	11.1	0.0	22.2	0.0
	自営業	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	126	63.5	7.9	4.0	20.6	4.0
	就労継続支援A型事業所	22	72.7	13.6	0.0	9.1	4.5
	就労継続支援B型事業所	193	73.6	4.7	1.0	16.1	4.7
	地域活動支援センター（作業所）	122	66.4	3.3	0.0	14.8	15.6
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	195	69.2	3.6	0.0	14.4	12.8
	その他の仕事	29	55.2	3.4	0.0	37.9	3.4

問25-4 今の仕事でもらえるお金（賃金・給料・工賃など）についておたずねします。
（○は1つだけ）

「十分満足している」「十分ではないが満足している」を合わせた“満足している”の割合が73.4%となっています。一方、「不満である」の割合は18.9%となっています。



【就労状況別と今の仕事でもらえるお金の満足度のクロス】

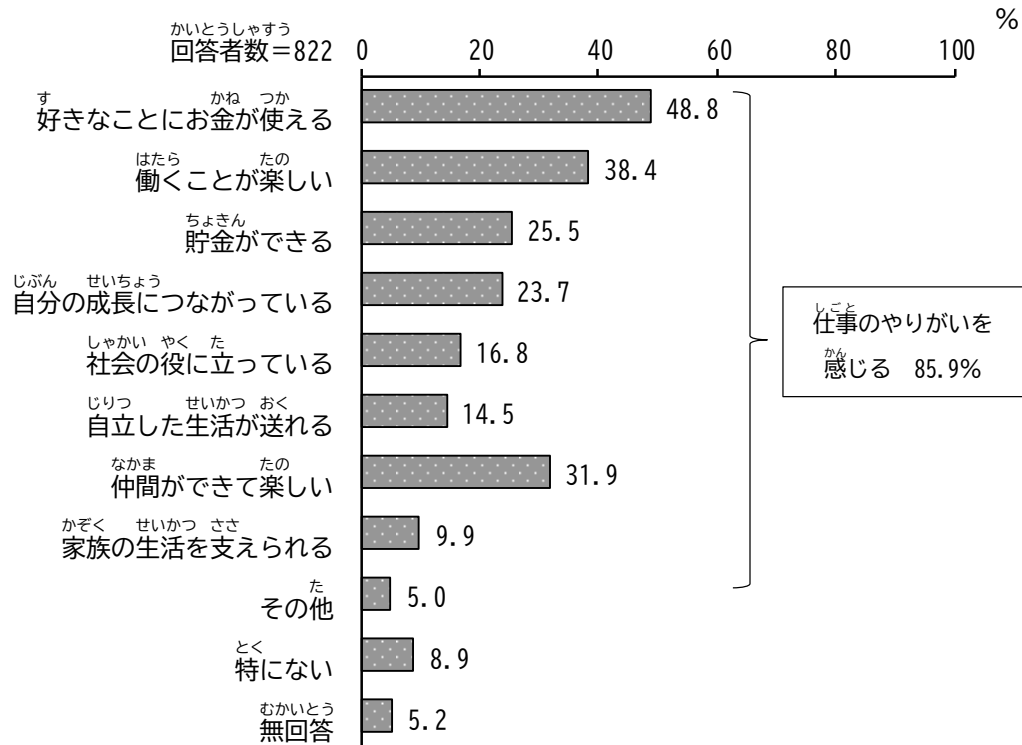
就労状況別にみると、「会社員（常勤）」、「公務員（常勤）」で“満足している”の割合が高くなっています。一方、「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」「地域活動支援センター（作業所）」「就労継続支援A型事業所」で「不満がある」の割合が他と比較してやや高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25-4 今の仕事でもらえるお金の満足度				
			している	十分満足	している ないが満足	十分では	不満である
全 体		822	30.5	42.9	18.9	7.7	
問25 現在の仕事	会社員（常勤）	160	52.5	35.0	10.6	1.9	
	公務員（常勤）	9	33.3	55.6	11.1	0.0	
	自営業	2	0.0	100.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	126	42.1	38.9	17.5	1.6	
	就労継続支援A型事業所	22	36.4	36.4	22.7	4.5	
	就労継続支援B型事業所	193	22.8	53.4	18.1	5.7	
	地域活動支援センター（作業所）	122	17.2	45.1	23.0	14.8	
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	195	17.9	43.6	23.6	14.9	
	その他の仕事	29	44.8	31.0	20.7	3.4	

問25－5 あなたが感じる仕事のやりがいについておたずねします。(○はいくつでも)

仕事のやりがいを感じている人は 85.9%で、具体的には「好きなことにお金を使える」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「働くことが楽しい」の割合が 38.4%、「仲間ができて楽しい」の割合が 31.9%となっています。



【就労状況別と仕事のやりがいのクロス】

就労状況別にみると、「会社員（常勤）」「自営業」「パート・アルバイト」「就労継続支援A型事業所」「就労継続支援B型事業所」は「好きなことにお金を使える」が、「公務員（常勤）」は「自分の成長につながっている」が、「地域活動支援センター（作業所）」「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」は「働くことが楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問25－5 仕事のやりがい										
			好きなことにお金 が使える	働くことが楽しい	貯金ができる	自分の成長に つながっている	社会の役に立っ ている	自立した生活が 送れる	仲間ができて楽 しい	家族の生活を 支えられる	その他	特 に ない	無 回 答
全 体		822	48.8	38.4	25.5	23.7	16.8	14.5	31.9	9.9	5.0	8.9	5.2
問25 現在の 仕事	会社員（常勤）	160	73.8	36.3	48.1	32.5	28.1	20.6	27.5	23.8	5.0	4.4	1.3
	公務員（常勤）	9	33.3	66.7	22.2	77.8	44.4	22.2	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0
	自営業	2	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	126	73.0	37.3	46.8	27.0	25.4	25.4	22.2	15.9	5.6	4.0	0.8
	就労継続支援A型 事業所	22	54.5	31.8	18.2	18.2	9.1	13.6	27.3	4.5	4.5	13.6	4.5
	就労継続支援B型 事業所	193	50.8	46.1	21.2	23.3	12.4	14.0	37.3	4.1	1.0	8.8	3.1
	地域活動支援センタ ー（作業所）	122	27.0	38.5	6.6	17.2	11.5	9.0	30.3	4.9	4.1	9.0	12.3
	就労移行支援・ 生活介護などの福祉 サービス事業所	195	22.6	33.8	5.6	19.0	9.7	5.1	36.4	2.1	7.7	18.5	10.3
	その他の仕事	29	51.7	24.1	44.8	24.1	17.2	31.0	34.5	17.2	17.2	0.0	0.0

【将来暮らしたい人別と仕事のやりがいのクロス】

将来暮らしたい人別にみると、「友人・知人・仲間など」を除くすべてで、「好きなことにお金を使える」の割合が高く、「友人・知人・仲間など」で「仲間ができて楽しい」「働くことが楽しい」の割合が高くなっています。また、「妻や夫」・「一人」では「貯金ができる」、「子」では「家族の生活をえられる」が他と比べて高くなっています。

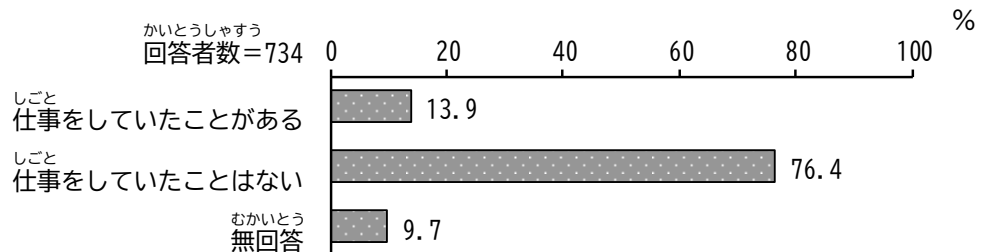
単位：％

		回答者数 (件)	問25－5 仕事のやりがい										
			好きなことにお金 が使える	働くことが楽しい	貯金 ができる	自分の成長に つながっている	社会の役に 立っている	自立した生活が 送れる	仲間が できて楽しい	家族の生活を 支えられる	その他	特 にない	無 回答
全 体		822	48.8	38.4	25.5	23.7	16.8	14.5	31.9	9.9	5.0	8.9	5.2
問19－1 将来暮ら したい人	一人	201	58.7	38.8	40.8	30.3	25.9	28.9	25.9	10.9	4.0	7.0	3.0
	妻や夫	67	65.7	40.3	52.2	35.8	25.4	25.4	25.4	23.9	4.5	4.5	6.0
	子	22	59.1	40.9	40.9	36.4	27.3	9.1	13.6	36.4	4.5	9.1	4.5
	お 親	355	52.4	42.3	23.9	27.3	19.2	11.0	34.9	11.0	3.7	8.2	3.1
	兄 弟・姉妹	128	57.8	39.1	28.1	25.8	20.3	14.1	39.1	14.1	3.9	6.3	2.3
	友人・知人・ 仲間など	192	41.1	43.8	19.8	23.4	16.1	14.1	45.8	5.7	4.2	5.2	6.8
	その他	126	38.1	27.8	23.8	18.3	15.9	10.3	24.6	5.6	15.1	16.7	5.6

問25で「家事・介護・育児」「仕事をしていない」と回答した方にうかがいます。

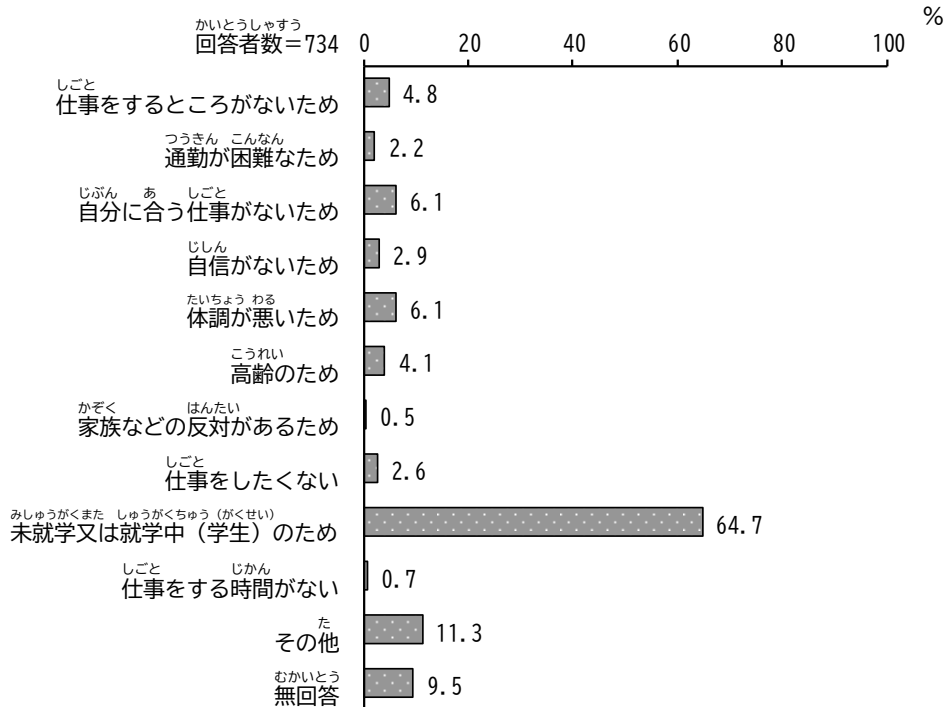
問25-6 あなたは過去に仕事をしていたことがありますか。(○は1つだけ)

「仕事をしていたことがある」の割合が13.9%、「仕事をしていたことはない」の割合が76.4%となっています。



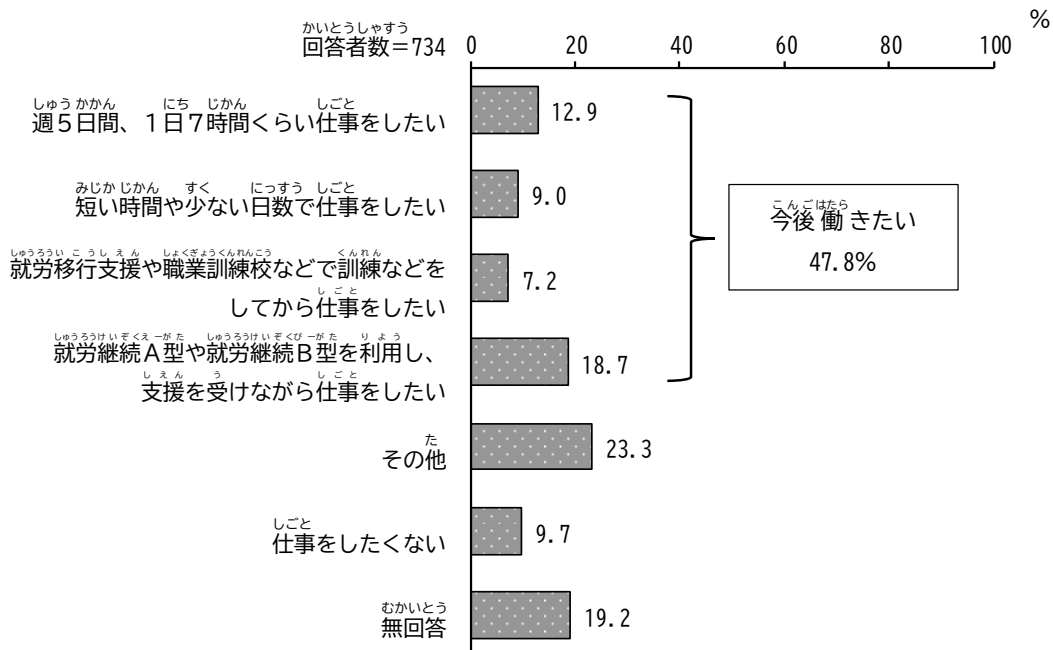
問25-7 仕事をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「未就学又は就学中（学生）のため」の割合が64.7%、「自分に合う仕事がないため」「体調が悪いため」が6.1%、「仕事をするところがないため」が4.8%の順に高くなっています。一方、「仕事をしたくない」の割合は2.6%となっています。



問25-8 今後の仕事の希望についておたずねします。(○は1つだけ)

今後働きたい方は47.8%。具体的には、「就労継続A型や就労継続B型を利用し、支援を受けながら仕事をしたい」の割合が18.7%、「週5日間、1日7時間くらい仕事をしたい」が12.9%、「短い時間や少ない日数で仕事をしたい」が9.0%の順に高くなっています。一方、「仕事をしたくない」の割合は9.7%となっています。



【年齢区分別と今後の就労希望のクロス】

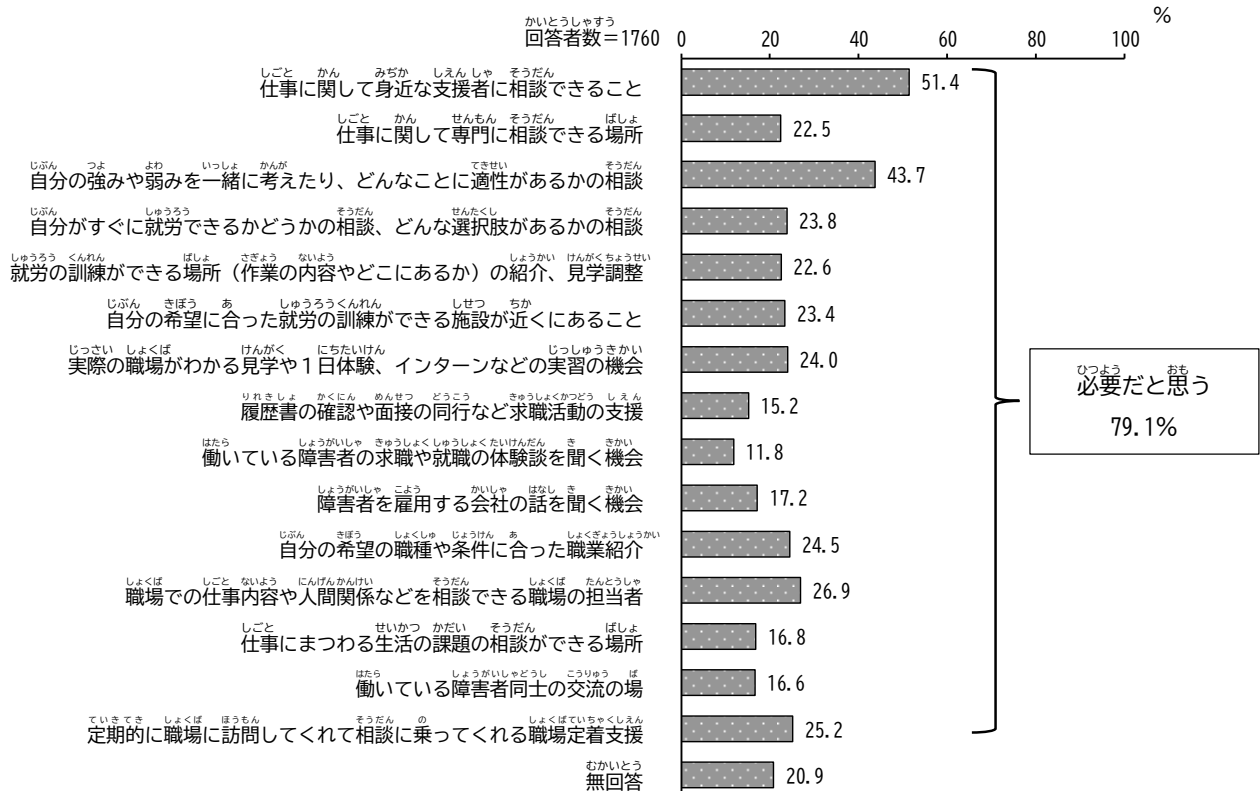
年齢区分別にみると、「20歳未満」「20～30歳代」で、「今後働きたい」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問25－8 今後の就労希望			
			今後働きたい	その他	仕事をしたくない	無回答
全 体		734	47.8	23.3	9.7	19.2
問2 年齢	20歳未満	508	57.9	21.7	3.3	17.1
	20～30歳代	98	34.6	30.6	14.3	20.4
	40歳代	36	25.1	30.6	13.9	30.6
	50歳代	39	18.0	33.3	25.6	23.1
	60歳以上	49	12.2	12.2	51.0	24.5

問26 全ての方におたずねします。仕事についたり、仕事を続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

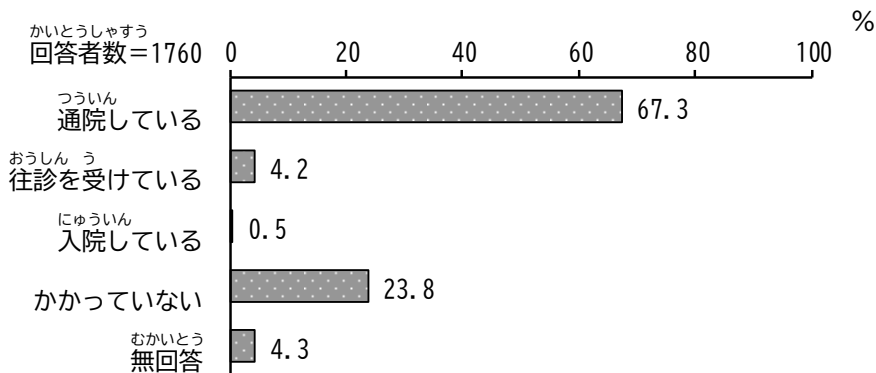
仕事についたり、仕事を続けるために何らかの支援が必要だと思う人は、79.1%。具体的には、「仕事に関して身近な支援者に相談できること」の割合が51.4%と最も高く、次いで「自分の強みや弱みを一緒に考えたり、どんなことに適性があるかの相談」の割合が43.7%、「職場での仕事内容や人間関係などを相談できる職場の担当者」の割合が26.9%となっています。



医療と健康についておたずねします

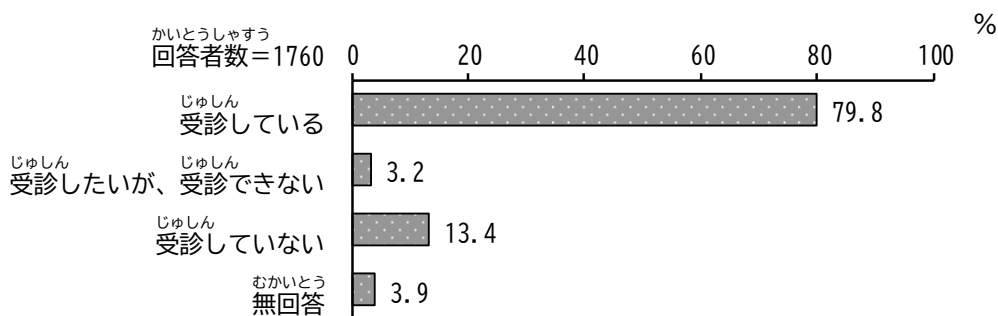
問27 あなたは現在医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

「通院している」の割合が 67.3%、「往診を受けている」が 4.2%、「入院している」が 0.5%の順に高くなっています。一方、「かかっていない」の割合は 23.8%となっています。



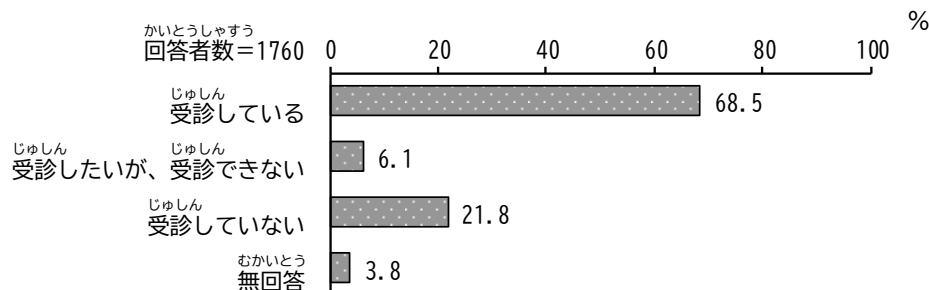
問28 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、風邪をひいた時などに診察を受ける近くのクリニックなどへ受診していますか。(○はいくつでも)

「受診している」の割合が 79.8%、「受診したいが、受診できない」の割合が 3.2%、「受診していない」の割合が 13.4%となっています。



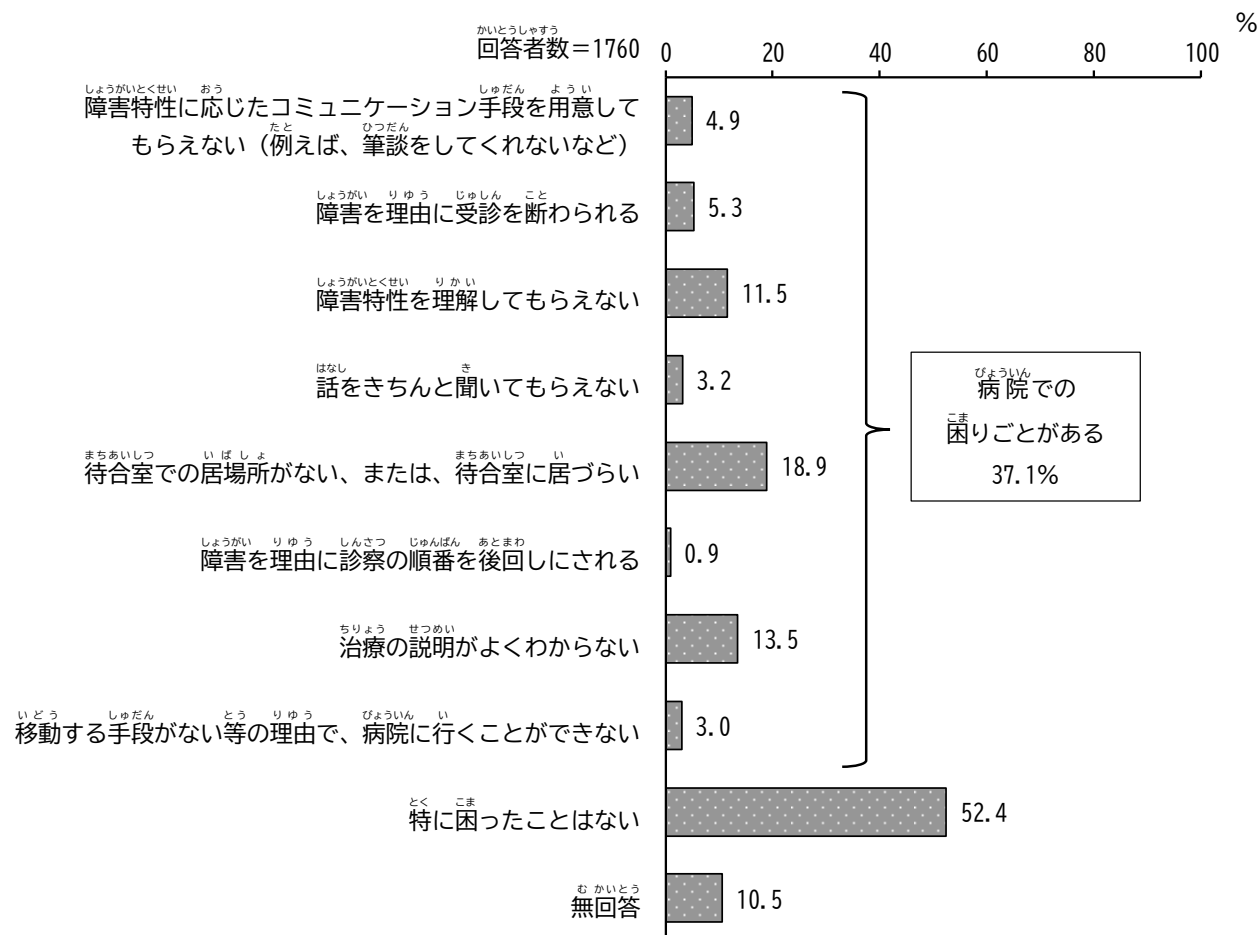
問29 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、歯や口の健康のことで診察を受けるために近くの歯科クリニックへ受診していますか。(○はいくつでも)

「受診している」の割合が 68.5%、「受診したいが、受診できない」の割合が 6.1%、「受診していない」の割合が 21.8%となっています。



問30 病院での困りごととはなんですか。（〇はいくつでも）

病院での困りごとがある方は 37.1%、具体的には、「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」の割合が 18.9%、「治療の説明がよくわからない」が 13.5%、「障害特性を理解してもらえない」が 11.5%の順に高くなっています。一方、「特に困ったことはない」の割合は 52.4%となっています。



【歯科受診別と病院での困りごとのクロス】

歯や口の健康のことで、歯科クリニックの受診別にみると、「受診したいが、受診できない」と回答した方では、「障害特性を理解してもらえない」「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」の割合が高くなっています。

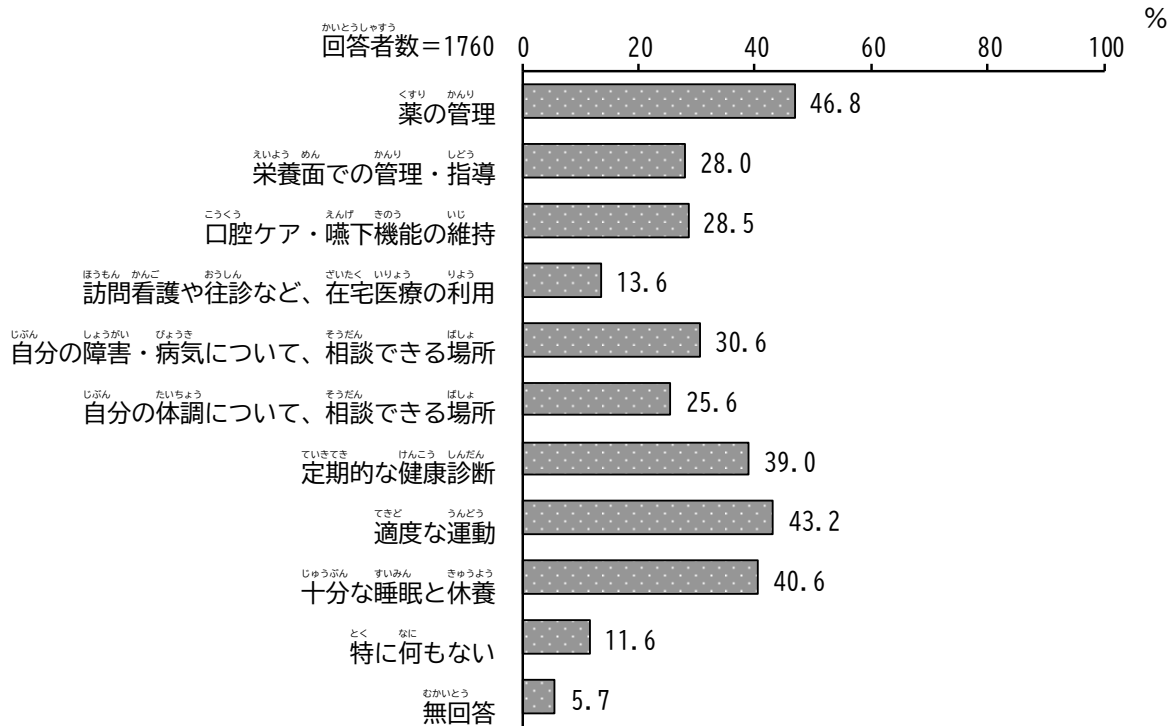
単位：％

		回答者数 (件)	問30 病院での困りごと				
			筆談をして くれないなど	障害特性に 応じた「コミュ ニケーション 手段」を用意 してもらえない (例えば、 たと	障害を理由に 受診を断わ られる	障害特性を理 解してもら えない	話をきちんと 聞いてもら えない
全 体		1,760	4.9	5.3	11.5	3.2	18.9
問29 歯科受診 状 況	受診している	1,205	4.2	4.6	9.6	2.4	16.2
	受診したいが、受診できない	107	15.9	22.4	33.6	7.5	47.7
	受診していない	384	4.7	3.9	12.8	5.2	22.1

		問30 病院での困りごと				
		障害を理由に 診察の 順番を後回しに される	治療の説明が よくわから ない	移動する手段 がない等の 理由で、病 院に行くこ とができない	特に困ったこ とはない	無回答
全 体		0.9	13.5	3.0	52.4	10.5
問29 歯科受診 状況	受診している	0.6	13.9	2.2	57.3	8.5
	受診したいが、受診できない	5.6	14.0	13.1	16.8	8.4
	受診していない	0.8	14.1	3.4	51.0	8.1

問31 あなたの健康・医療について、必要だと思うことはなんですか。(○はいくつでも)

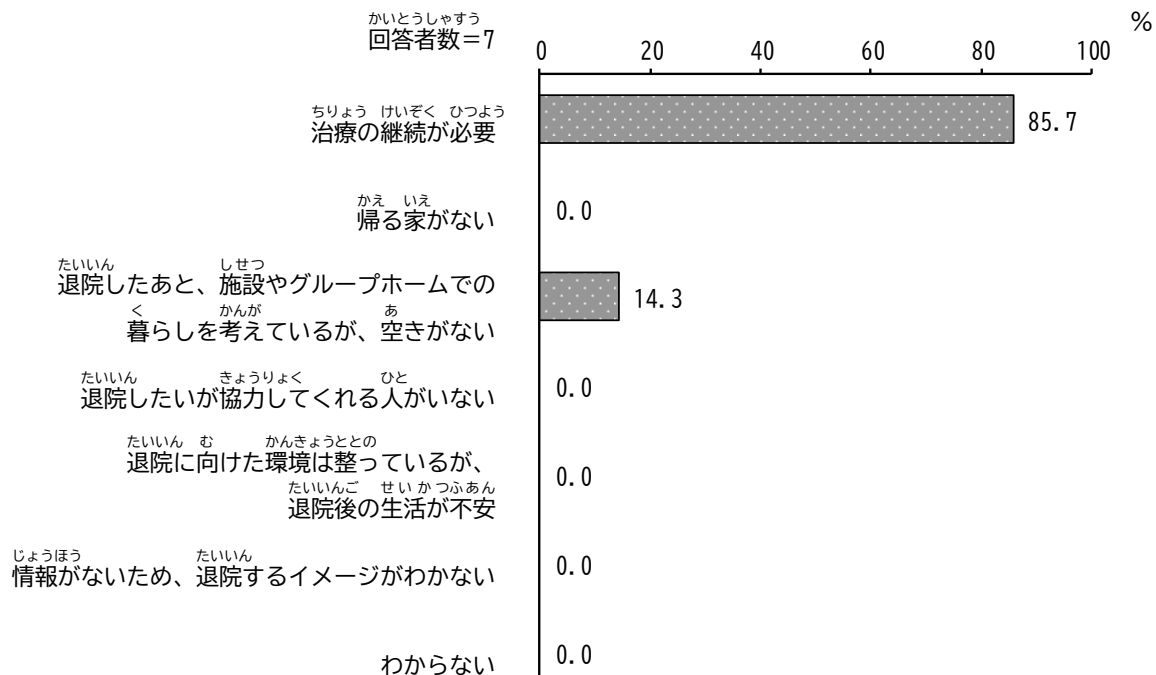
「薬の管理」の割合が46.8%、「適度な運動」が43.2%、「十分な睡眠と休養」が40.6%の順に高くなっています。一方、「特に何もなし」の割合は11.6%となっています。



※1年以上、病院で過ごしている方にうかがいます。

問32 病院での生活が長くなっている理由は何のようなものですか。(○は1つだけ)

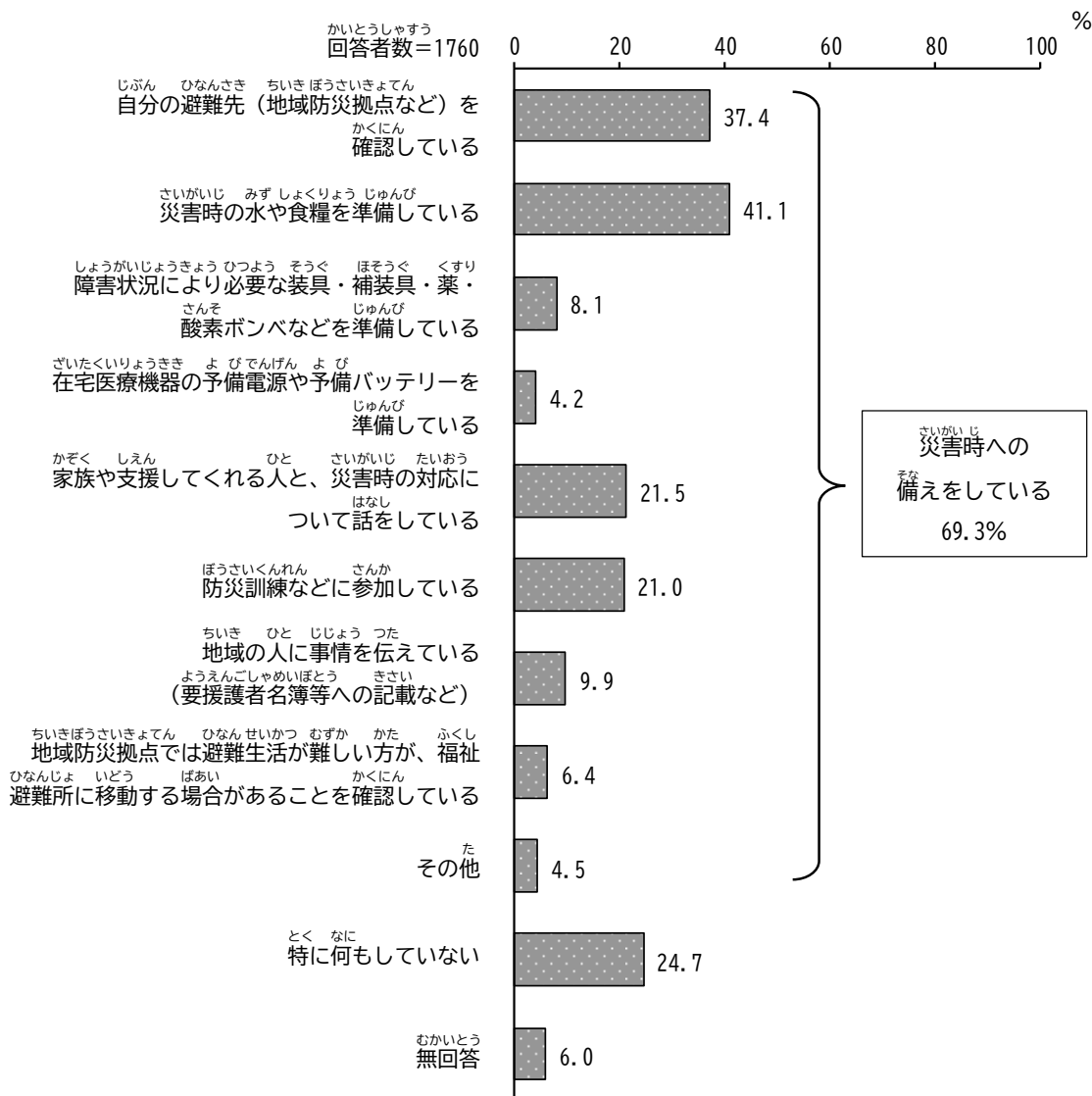
「治療の継続が必要」の割合が85.7%と最も高くなっています。



災害関係についておたずねします

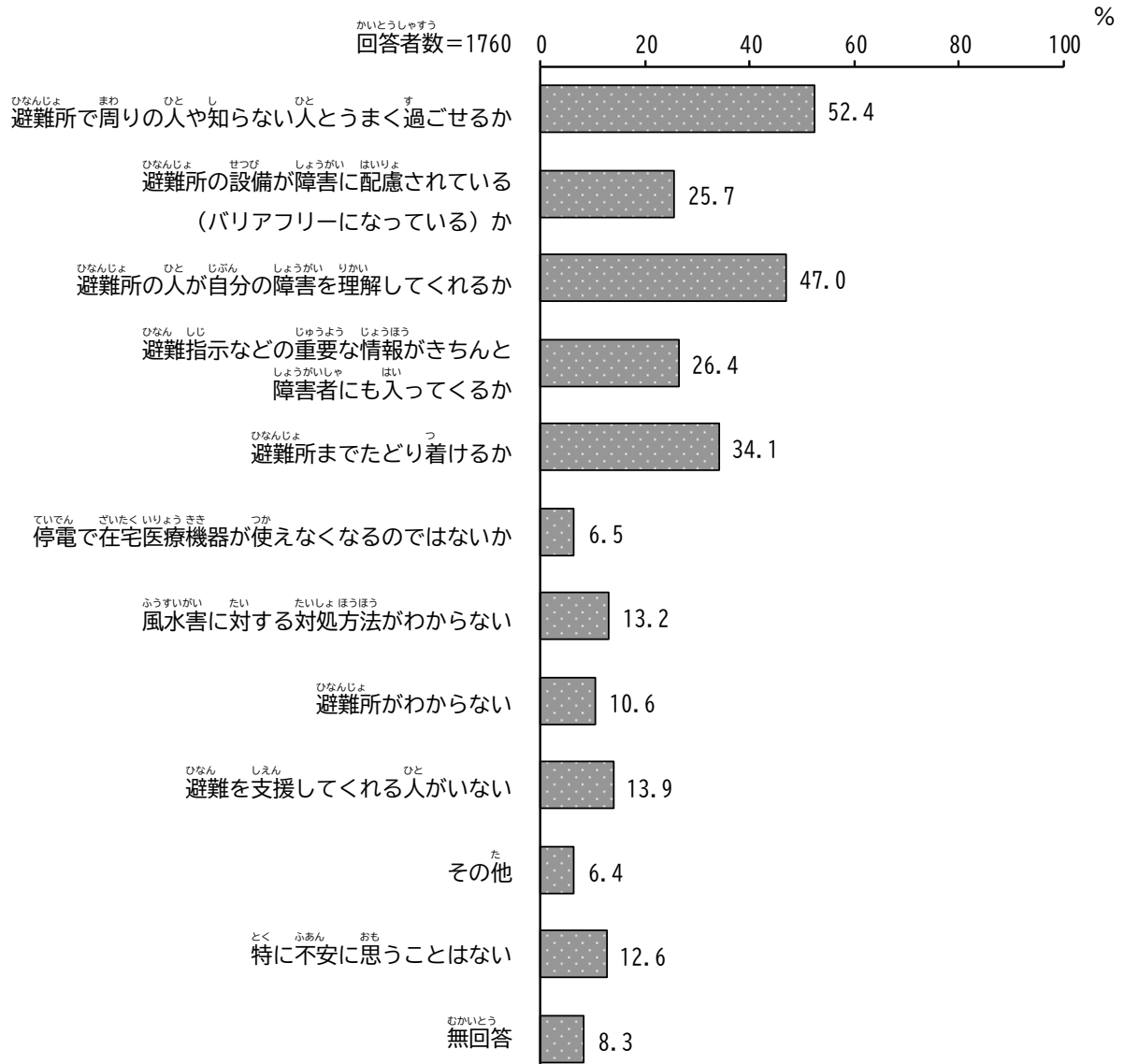
問33 災害時への備えとして、どんなことをしていますか。(〇はいくつでも)

災害時への備えをしている方は69.3%、具体的には、「災害時の水や食糧を準備している」の割合が41.1%、「自分の避難先（地域防災拠点など）を確認している」が37.4%、「家族や支援してくれる人と、災害時の対応について話をしている」が21.5%の順で高くなっています。一方、「特に何もしていない」の割合は24.7%となっています。



問34 災害に備えていても、不安に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「避難所で周りの人や知らない人とうまく過ごせるか」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「避難所の人が自分の障害を理解してくれるか」の割合が 47.0%、「避難所までたどり着けるか」の割合が 34.1%となっています。



その他、自由意見など

※全体報告書に記載したものと同一内容です。

問35 このアンケートで、「その他」や選択肢に当てはまるものがなかったもの、問にはないけれども伝えたいことや、横浜市の障害福祉の取組についてのご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

アンケート調査票の自由記述欄において、多数の意見を寄せていただきました。

具体的に設問番号を記載されたもののうち、同じ趣旨のご意見をまとめて掲載します。掲載に際しては、文言の体裁を整えるため、原文そのままではありません。また、個人情報や個人が特定されるおそれがある内容は除いて掲載しています。

【問1】アンケートの代筆や記入のサポートが必要な理由

- ・ 意思表示はできるが、質問の理解が困難な場合は説明をしながら、聞きとりをしました。
- ・ 1問ずつ長時間熟考するので時間がかかりました。
- ・ 視力が落ちて読解に支障があるためです。

【問12】日常生活（移動や家事など）で困ること

- ・ 字が読みづらいため、買い物や外出時は大変で時間がかかります。間違えてしまうこともあります。拡大鏡やスマホの拡大鏡アプリは必須です。
- ・ 人混みや初めて訪問する場所。
- ・ 食べることはできるが声をかけないと食べ始めず、着ることはできるがえらべないです。

【問13】意思の疎通について

- ・ 言葉がききとりづらく相手に理解してもらえないことが多いです。
- ・ 伝えることが上手くできないこともある。
- ・ 相手の方がマスクをしていると理解がむずかしい時があります。
- ・ 相手の方の声の質によって聞き取りにくい場合があります。
- ・ 耳の近くで会話をしています。

【問14】生活上の不満や相談ごと

- ・ 障害者雇用の求人は短時間勤務や有期雇用などが多く、今の収入では生活が苦しく将来が不安です。職場も障害者を雇っているだけでひとりひとりを評価してくれない。障害者を一括りにしないで個人として尊重されたい。
- ・ どこへ相談したらよいのか、どのような情報があるのか見える化してほしいです。（専用のweb pageを作ってそのpageへアクセスすれば、すべての情報が入っているようにしてほしい）
- ・ 若かったり、外見からでは障害があると分からない場合、椅子にかけたり、休める場所が増えるとありがたいです。
- ・ 子どもの特性、個性に合う施設に巡り合うことの難しさを感じています。文字情報として持っていて通えるのか、から始まり、親は良くて、子どもはどうなんだろうと、問い合わせ前の

気持ちづくりがすごく気が重く、地区センターなどに^{でまえたいけん}出前体験ができる^{きかい}機会や、^{ごうどうせつめいかい}合同説明会などで^{しえん}マッチングを支援してほしいです。

【問15】^{こうつうきかん}交通機関や^{がいしゅつじ}外出時における^{きけん}危険・^{こんなん}困難

- ・^{ほどう}歩道を^{ある}歩いているとしばしば、^{じてんしゃ}自転車（^{でんどうつ}電動付き）が^{もう}猛スピードで^{まえ}前から^{あと}後からも^{はし}走ってくるのが怖いです。
- ・^{でんしゃ}電車やバスが^と止まったりした時、^{とき}車内に^{しやない}アナウンスが^{なが}流れるが、^{なんちようしゃ}難聴者は^き聞こえないため^{じょうほう}情報が^え得られず^{こま}困ります。車内の^{しやない}テロップなどにも^{どうじ}同時に^{ひようじ}表示するようにして^{いただ}頂きたいです。
- ・^{でんしゃ}電車の^{ゆうせんせき}優先席 ^{ゆうせん}優先される事はほとんどないです。
- ・^{しょうがいしゃよう}障害者用の^{けんじようしゃ}エリアに^{こんざつ}健全者が^{りよう}混雑のため^{ばあい}利用している場合があり、いつでも^{つか}使える^{じょうきよう}状況ではありません。
- ・どのタクシーでも、いつでも^{くるま}車いすのまま^の乗れるタクシーにしてほしいです。

【問16】^{しょうがいふくし}障害福祉にかかわる^{じょうほう}情報の^{にゅうしゅほうほう}入手方法

- ・^{しょうがいふくし}障害福祉の^ああんないも^よ読んで^はいますが、^{もじ}文字ばかりで^よ読みに^くくいです。もっと^わ分かりやすく、^{じょうほう}情報を^{ひろ}広めてもらえれば、「^{はじ}初めて^し知った」「もっと^{はや}早く^し知りたかった」ということが^へ減らせると思います。^{おも}身体^{しんたい}障害や^{ちてきしょうがい}知的障害、^こ子どもの^{しょうがいふくし}障害福祉に関する^{かん}情報の^{じょうほう}方が、^し市の^{こうほう}広報や^{ほむページ}H Pにたくさん^の載っているように^{おも}思います。^{かんたん}簡単に^{かんくし}福祉や^{しえん}支援サービスの^{じょうほう}情報に^しアクセスできるように^{ほむページ}市のH Pを^{かいりよう}改良してほしいです。

【問22】^{ふくしとくべつじょうしゃけん}福祉特別乗車券について

- ・^{かみ}紙の^{じょうしゃけん}乗車券でなく、^{じどうかいさつぐち}自動改札口を^{つか}使えるようにして^ほ欲しい。自分の^{じぶん}S u i c aに^す紐付け^い出来たら^かなお^{ひもづ}良い。駅員さんの^{えきいん}いる^{かいさつぐち}改札口で^{かみ}紙の^{じょうしゃけん}乗車券を^み見せるのは、^{たにん}他人の^め目も^き気になるし、^{きんちよう}緊張する^いので^き嫌です。
- ・^{でんしゃ}電車は^{ちかてつ}地下鉄と^{りよう}シーサイドラインしか^{そうてつ}利用できない。^{けいきゅう}相鉄、^{じえいあーる}京急、^{りよう}J Rも^{りよう}利用できるように^ほして^ほ欲しいです。
- ・^{ふくしとくべつじょうしゃけん}福祉特別乗車券は^{まいとしりよう}毎年^{たいへん}利用しています。^あ大変^{がた}有り^{おも}難く^{ちかてつ}思っています。^{すこ}地下鉄^{とおで}バスと^{すこ}少し^{とおで}遠出も^で出来^きます。これから^{けいぞく}も^{くだ}継続して^{くだ}下さい。
- ・^{じょうしゃけん}乗車券を^{つか}使うと^{まった}全く^{うんどう}運動^{ある}しなくなるので、^{ある}歩くようにしています。

【問24】^よ余暇の^す過ごし^{かた}方や^{じょうほう}情報^{じょうほう}アクセス

- ・^{いえ}家の^{まわ}周りを^{さんぽ}散歩や^{うんどう}運動。
- ・^{でいーがいでいー}テレビD V Dの^{しちよう}視聴。
- ・^{きょうしつ}スポーツクラブの^{きょうしつ}スクール（かけっこ^{きょうしつ}教室）。

【問25】仕事や就労に関する状況と希望

- ・ 自宅で自由な時間に仕事をしたいです。
- ・ 6時間の就労がほとんどで、8時間働くことが出来ないのが困りごとです。(パートアルバイトの仕事が多く収入としては健康で文化的な生活を営むには少ない賃金です。)
- ・ 外見では、私の障害は分かりにくいので、仕事をしていても(障害のことを伝えていても)健聴者と思われ、仕事になかなかスムーズにいくことが少ないです。
- ・ 病気で障害者になった直後のフォローがほしかったです。仕事が見つかるまで、又はそのままその職場で働く事ができる様手続き、アドバイスがあるとうれしかった。

【問30】病院受診時の困りごと

- ・ 待ち時間が長い。
- ・ いつ自分の名前が呼ばれるのか聞きもらしてはいけないと思い、ストレスがたまります。
- ・ 自分の症状を医師に上手く伝えられないです。
- ・ 対応してくれる歯科はなかなか無く、何件も断られてしまう。

【問34】災害時の備えや不安

- ・ 災害時に、ふだん飲んでる薬が切れないか心配です。
- ・ トイレの確保ができるか心配です。
- ・ 多くの人が集まる場や、知らない人が集まる場にとっても強い緊張と不安があるので、その精神的な部分からトイレに行く事が出来なくなってしまいます。
- ・ 避難所で内部障害だと、周りから見たら要支援者と見られず、また自分からも伝えづらいので無理をしてしまいそう。
- ・ 人工内耳を使用しているので、バッテリーが切れた際、充電する電源が無くなった場合には、通常のコミュニケーションが取れなくなる不安があります。